



内閣府

～美ら島の未来を拓く～沖縄総合事務局  
**定例記者会見（１２月）**

平成２９年１２月６日（水）１６：３０～  
沖縄総合事務局６階「特別会議室」

【発表事項】

1. 平成 29 年度国有財産一般競争入札について
2. 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第４回選定）の選定報告について
3. 平成 29 年度沖縄総合事務局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定証授与式の開催について
4. 平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル暫定供用式の開催について
5. 沖縄総合事務局広報誌「群星」特別号の発行について

※ 参考「2017 沖縄総合事務局十大ニュース」

出席者 沖縄総合事務局

局 長  
次 長  
次 長  
総務部長  
財務部長  
農林水産部長  
開発建設部長

能 登 靖  
仲 程 倫 由  
菊 地 春 海  
後 藤 一 也  
山 田 康 博  
遠 藤 順 也  
坂 克 人

平成29年12月6日  
～美ら島の未来を拓く～  
沖縄総合事務局

## 国有財産の売払い（一般競争入札）について

沖縄総合事務局では、県内に所在する未利用の国有財産（4件）について、平成30年1月9日（火）から1月19日（金）を受付期間として、平成29年度の一般競争入札（期間入札）による売払（開札日：平成30年2月6日（火））を予定しております。

- 入札には、受付期間内に入札書を沖縄総合事務局財務部に郵送（必着）又は持参することにより参加することができます。
- 入札には、個人・法人どなたでも参加できます。
- 全ての物件において最低売却価格を公表する予定です。価格情報をあらかじめ公表することにより、入札金額の目安となるので、不動産取引に不慣れな方でも入札に参加しやすくなっています。

### 1. 国有財産の一般競争入札（期間入札）

売払物件数は、名護市2件、豊見城市2件の計4件を予定しております。

- ・ 公 示 日 平成29年12月14日（木）
- ・ 公示方法 沖縄総合事務局ホームページ、沖縄総合事務局1階行政情報プラザ掲示板
- ・ 受付期間 平成30年1月9日（火） ～ 1月19日（金）  
（ただし、土・日曜日を除く）
- ・ 開札日時 平成30年2月6日（火）午前10時～

### 2. 最低売却価格の公表

全ての物件において、一般競争入札の公告等で最低売却価格を公表する予定です。

最低売却価格とは国が売却する下限の価格であり、この金額以上の価格で、最も高い価格をつけていただいた方にご購入いただくことになります。

### ※ 国有財産物件情報メールマガジンのご案内

入札物件等の情報をメールマガジンで配信しています。配信を希望される方は、以下の国有財産情報公開システム（財務省へのリンク）をクリックし、「国有財産物件情報メールマガジンの登録はこちら」へお進みください。

<http://www.kokuyuzaisan-info.mof.go.jp/kokuyu/>

#### <問い合わせ先>

内閣府沖縄総合事務局財務部

統括国有財産管理官（担当：大嶺統括官）

電話：098-866-0097（ダイヤルイン）

ファックス：098-860-1168

ホームページ：<http://www.ogb.go.jp/zaimu/007612.html>





# 平成29年度 国有財産一般競争入札（期間入札）のお知らせ



- 公示日(予定) 平成29年12月14日(木)  
 ○受付期間(予定) 平成30年 1 月 9 日(火)午前9時～1月19日(金)午後5時まで  
 ○開札日(予定) 平成30年 2 月 6 日(火)午前10時から

- ① 個人・法人どなたでも参加できます。
- ② 一般競争入札は郵送(必着)又は持参による受付となります。
- ③ 一般競争入札に参加するには入札金額(最低売却価格ではない)の5%以上の入札保証金が必要です。
- ④ 登記簿地目が畑となっている物件については、落札後に農業委員会等への許可もしくは届出の手続きが必要となります。

**\* 最低売却価格以上で、かつ最高金額の入札をした方にお売りします。**

※公示日以降、**入札案内書を無料で配付**します。

入札は、**必ず現地を十分に確認してから参加**するようお願いします。

物件番号	所在地	現況地目 (登記簿地目)	面積(㎡)	坪数	最低売却価格	用途地域 (建ぺい率/容積率)
2901	名護市大北一丁目3955番5	宅地 (宅地)	2,060.03㎡	約624坪	公表予定	第一種低層住居専用地域 (40%/80%)
		住宅建 (RC3階建)	建)170.00㎡ 延)447.45㎡	約52坪 約136坪		
		住宅建 (RC3階建)	建)290.28㎡ 延)646.38㎡	約88坪 約196坪		
		雑屋建 (RC1階建)	建)16.00㎡ 延)16.00㎡	約5坪 約5坪		
2902	名護市宮里七丁目1425番2 外3筆	宅地 (宅地)	1,485.07㎡	約450坪	公表予定	第一種中高層住居専用地域 (60%/200%)
		住宅建 (RC2階建)	建)133.28㎡ 延)293.45㎡	約40坪 約89坪		
		住宅建 (RC2階建)	建)133.28㎡ 延)293.45㎡	約40坪 約89坪		
2903	豊見城市字宜保後原84番1 外8筆 <仮換地:那覇広域都市計画事業宜保地区土地区画整理事業21街区1>	宅地 (山林・畑・原野)	登記簿 2,797.50㎡  仮換地 <1,973.56㎡>	約848坪  <約598坪>	公表予定	第一種中高層住居専用地域 (60%/150%)
2904	豊見城市字平良大城原240番198	宅地 (宅地)	1,280.42㎡	約388坪	公表予定	第一種低層住居専用地域 (50%/100%)

## 案内書の配付及びお問い合わせ先

<b>沖縄総合事務局財務部統括国有財産管理官</b> <b>TEL:098-866-0097</b> <b>(担当:瑞慶覧・池原・東盛)</b> 〒900-8530 那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2地方合同庁舎10階	<b>宮古財務出張所</b> <b>TEL:0980-72-4774</b> 〒906-0013 宮古島市平良字下里1016平良地方合同庁舎3階	<b>八重山財務出張所</b> <b>TEL:0980-82-4941</b> 〒907-0004 石垣市字登野城55-4石垣地方合同庁舎3階
--	---	--

ホームページアドレス <http://www.ogb.go.jp/zaimu/007612.html>

入札情報を随時発信するメールマガジンへの登録は  
<http://www.kokuyuzaisan-info.mof.go.jp/kokuyu/>

沖縄総合事務局 国有地 検索

国有地 メルマガ 検索

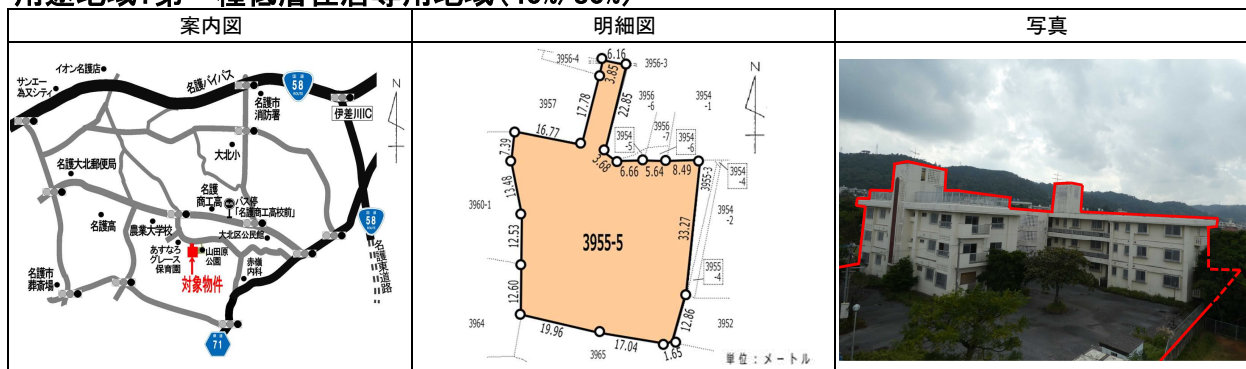
物件番号2901 名護市大北一丁目3955番5

2,060.03㎡

最低売却価格：公表予定

現況地目(宅地)・登記簿地目(宅地)

用途地域：第一種低層住居専用地域(40%/80%)



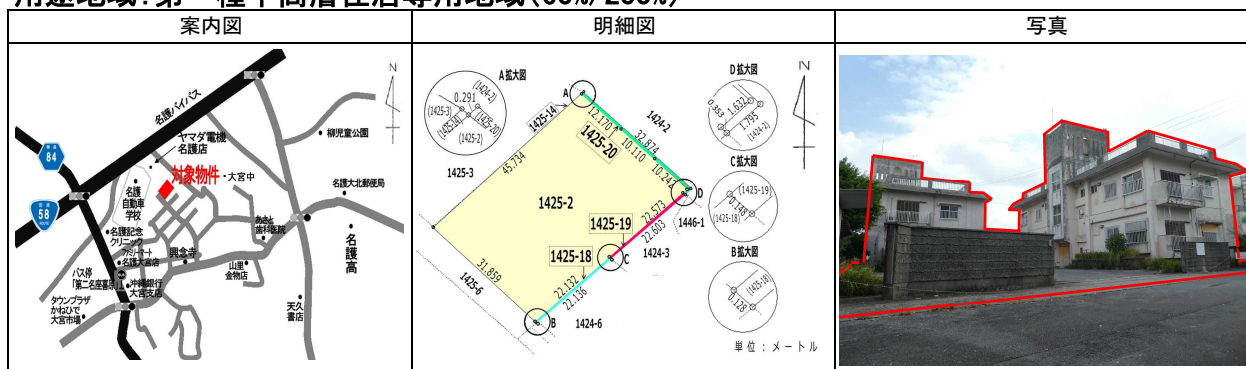
物件番号2902 名護市宮里七丁目1425番2 外3筆

1,485.07㎡

最低売却価格：公表予定

現況地目(宅地)・登記簿地目(宅地)

用途地域：第一種中高層住居専用地域(60%/200%)



物件番号2903

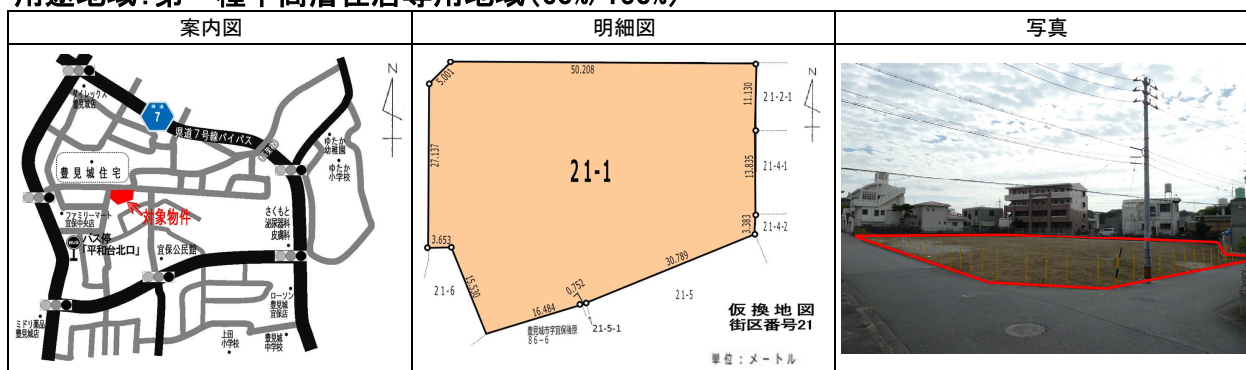
豊見城市字宜保後原84番1 外8筆  
〈仮換地：那覇広域都市計画事業宜保地区土地  
区画整理事業21街区1〉

登記簿：2,797.50㎡  
〈仮換地：1,973.56㎡〉

最低売却価格：公表予定

現況地目(宅地)・登記簿地目(山林・畑・原野)

用途地域：第一種中高層住居専用地域(60%/150%)



**1,280.42m<sup>2</sup>**

現況地目(宅地)・登記簿地目(宅地)

**用途地域：第一種低層住居専用地域(50%/100%)**

[illegible]

## 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 （第4回選定）の選定報告について

内閣官房及び農林水産省は、全国844地区の応募の中から、31地区の農山漁村地域の活性化に取り組んでいる優良事例を「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として選定しています。

今回、沖縄総合事務局管内からは「糸満市観光まちづくり協議会」が選定され、去る11月22日（水）に首相官邸において、選定証授与式・交流会が行われました。

これを受け、当該団体による「ディスカバー農山漁村の宝」の選定報告を12月22日（金）に行いますのでお知らせします。

### 1. 事業の趣旨

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信することとしています。

### 2. 選定団体

糸満市観光まちづくり協議会（所在地：糸満市 代表者：<sup>うえはら</sup> <sup>あきら</sup> 上原 昭 氏（糸満市長））

### 3. 選定団体の概要

別紙「糸満市観光まちづくり協議会の概要」を御参照願います。

### 4. 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の選定報告

日時：平成29年12月22日（金） 9：30～10：00

場所：沖縄総合事務局特別会議室

（那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2地方合同庁舎2号館6階）

出席予定者：糸満市観光まちづくり協議会（上原昭代表ほか）

### 5. 取材について

選定報告は、報道関係者の方々による取材が可能です。記者席を設けますので、事前に御連絡いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局農林水産部

農村振興課農村活性化推進室

担当者：神里、佐久川、甲斐

TEL：098-866-1652、FAX：098-860-1194





農泊

インバウンド

子ども  
(教育・体験)

いとまんし  
沖縄県 糸満市



## いとまんし 糸満市観光まちづくり協議会

祈りのまちの民泊で、つながる絆 太くなが〜く

糸満市の活発な取組が地方TVで放映



沖縄の伝統文化を学ぶ農泊



収穫の喜びを味わうサマースクール



### 概要

- 閑散期解消のため、サマースクールの受入を実施。
- インバウンドや大人向け体験メニューの開発。
- 簡易宿所営業許可取得の指導や英語講習会など、受入農家をレベルアップ。
- 地元テレビ放送等において、農家も参加したPR活動を実施。

### 成果

- 修学旅行の受入者数は、約500人から約3,400人に増加(H24-H28)。
- 年間を通しての活動の場の広がりにより農家の所得向上に貢献。
- メールやSNSを活用した情報発信等の広報活動が活発化。



平成29年度～ 平成30年度	糸満市観光まちづくり協議会 (沖縄県糸満市)	・農泊推進対策	(全体のポイント) 「食」の専門家と漁業関係者が中心となって糸満らしい地域資源の活用に向けて、①農泊の推進、②農業と漁業と観光との連携の促進、③農・漁の体験メニューの構築を図る。	糸満市観光 まちづくり 協議会
-------------------	---------------------------	---------	--	-----------------------

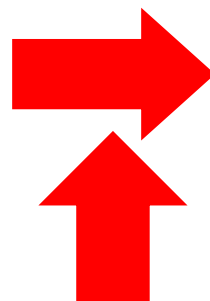
## 地区の現状と課題

### 現状

・農泊家庭数は70世帯あり、年間3,400人程度の修学旅行生を受け入れているが、修学旅行の繁忙期以外は農泊の受入れがなく農家の収入が安定していない状況である。

### 課題

・年間を通して農泊受入れが充実し農家の所得向上と生きがいづくりを目標にインバウンド・大人の農泊受入れを模索している。  
・地元密着型のローカルな旅を観光客は求めているが「食」、「宿泊施設」、「体験メニュー」の連携や取組が不足している。



## 地区の将来像

・糸満市の「食」の魅力を活かした、糸満市でしか体験できない質の高いおもてなしの糸満ブランドを構築するため、地元の野菜ソムリエと連携し、「農」と「食」の体験メニューを確立する。  
・行政、市民、民間事業者、関係団体が連携し、他の地域とは異なる特色を出した島野菜の収穫体験や水産資源を活用した「糸満ブランド農泊」を推進し、地域の活性化を図る。  
・「大人の農泊・インバウンド向け農泊」を充実させ、平成31年度の自立に向けて組織体制の強化を図る。

## 交付金の活用

### 事業の実施体制(役割)

糸満市観光まちづくり協議会

#### 事務局

糸満市観光協会 民泊部会  
(民泊活動)

糸満市 商工観光課  
(行政サポート)

JAおきなわ  
(ファーマーズマーケット)  
(農産物販売)

糸満フィッシュリーナ(糸満漁港)  
(漁業体験)

地域雇用創出推進協議会  
(県産品を活用した商品開発)

### 取組内容

#### ①農泊推進対策 (H29年～H30年)

##### ○平成29年度

・農泊の推進(国内・海外の観光客の受入環境の整備)、新規民泊家庭の開拓  
・農業と漁業と観光の連携、モニターツアーの実施  
・食と糸満ブランド化の推進、農・漁の体験メニューの構築、プロモーション活動準備

##### ○平成30年度

・農泊の推進(国内・海外の観光客の受入環境の整備)、インバウンド対策勉強会  
・農業と漁業と観光の連携促進、モニターツアーの実施

##### ○平成31年度

・予約サイトの運営充実、宿泊事業者との販売連携、体験メニューの充実と旅行商品としての販売、着地型旅行商品パッケージと販売の充実



## 平成29年度 沖縄総合事務局 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 選定証授与式の開催について

沖縄総合事務局農林水産部では、当局管内で農山漁村地域の活性化に取り組んでいる優良事例として沖縄総合事務局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として選定することとしました。

初年度である29年度は、「農業生産法人株式会社あいあいファーム（今帰仁村）」を選定しました。  
なお、選定証授与式を12月18日（月）に開催いたしますのでお知らせします。

### 1. 事業の趣旨

全国版「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、平成26年度から国が選定している「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域活性化、所得向上等に取り組んでいる優良な事例です。

今年度は、10月24日に全国で31地区の優良事例が選定され、そのうち沖縄総合事務局管内からは「糸満市観光まちづくり協議会」が選定されています。

※農林水産省 HP (<http://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/discover.html#h29kekka>)

一方、全国で選定された地区以外であっても、沖縄総合事務局管内には多くの優良な事例がみられるため、当局では平成29年度から新たな取組として、上記のような優良な事例を「沖縄総合事務局『ディスカバー農山漁村（むら）の宝』」として選定し、広く発信することにより他地区への横展開を図ることとしました。

### 2. 選定結果

農業生産法人 株式会社 あいあいファーム（今帰仁村）

※取組概要については、添付参照。（PDF ファイル）

### 3. 選定証授与式

（1） 日 時：平成29年12月18日（月） 15：00～15：30

（2） 場 所：沖縄総合事務局農林水産部長室

（那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2合同庁舎2号館8階）

### 4. 取材について

授与式は、報道関係者の方々による取材が可能です。スペースを設けますので、事前に御連絡いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局農林水産部

農村振興課農村活性化推進室

担当者：神里、佐久川、甲斐

TEL：098-866-1652、FAX：098-860-1194

# 農業生産法人 株式会社 あいあいファーム

## 廃校を活用した6次産業化と農泊の推進！

廃校を活用した農家レストラン及び宿泊施設



動物との触れ合い体験



観光客で賑わう農家レストラン



6次産業化商品を直売所で販売



### 概 要

#### ○農泊

- ・農家レストラン及び宿泊施設を整備
- ・今帰仁村観光協会等と連携して、修学旅行生や外国人観光客を受入

#### ○6次産業化

- ・農産物加工処理施設及び直売施設を整備
- ・加工した商品は、直売所や沖縄県内のスーパー、外食事業者へ販売

#### ○雇用

- ・施設整備等に応じて増員

### 成 果

- ・施設の売上が、当初の58百万円から186百万円に増加  
(H25→H28)

- ・6次産業化に係る商品の売上げが、30百万円から38百万円に増加  
(H25→H28)

- ・雇用人数が、30人から39人に増加  
(H25→H28)



# 6次産業化認定事例 農業生産法人(株)あいあいファーム(今帰仁村)

## 【取組の概要】

- ◆自社産大豆、県内契約栽培の小麦、米粉を活用した加工品を開発、直売施設での販売や関連企業(株)アメニティへ供給。  
将来的には通信販売による販路拡大も視野に入れ展開。
- ◆廃校を利用し、農産加工施設、直売施設、地域食材提供施設(レストラン)、宿泊施設等を整備。

## 【事業者概要】

だいこんの花、赤とんぼ、海のちんぼらあ等の飲食店を展開する(株)アメニティから農業生産部門として独立。農業生産～手作り工房～直売所&カフェで農業の6次産業化に取り組む。



伊志嶺代表取締役

## 【取り組むに至った経緯】

- ◆かつて、沖縄でも盛んに栽培されていた大豆、小麦等を自ら生産し、地場産原料を使ったパン、豆腐など、付加価値を高めて自社の飲食店に供給したい。栽培技術の途絶、台風等の課題はあるが、技術の確立に取り組み、地域の農業振興も図る。

## 【活用した支援施策】

- ◆H24年2月 6次産業化推進整備事業  
(農産物加工施設整備)
- ◆H26年3月 6次産業化推進事業  
(地域食材提供施設整備)



あいあいファーム  
有機JAS今帰仁村玉城圃場ハウス



溶岩石窯



島豆腐、伊江島産小麦を使ったパン

## 【有機農業と手づくり体験、宿泊体験】



旧湧川小中学校校舎・体験園場



施設全体図(案内MAP)

自社農場で大豆を栽培するほか、伊江島の小麦農家と栽培契約。手づくり工房では天然酵母を使用した自家製パン、自家製ゆし豆腐や島豆腐、生搾り豆乳を製造



ソーセージ手づくり体験



2012 夏休み子ども宿泊体験

今帰仁村が公募した湧川小中学校旧校舎活用事業に採択。旧校舎を改修し農産加工施設、体験学習宿泊施設等を整備。

## 平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル暫定供用式の開催

「平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル整備事業」について、平成29年12月16日（土）10:00～平良港にて暫定供用式（沖縄総合事務局、宮古島市共同開催）を行います。

### 平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル暫定供用式

主 催：内閣府 沖縄総合事務局、宮古島市（共同開催）

開催日：平成29年12月16日（土）10:00～（受付9:30～）

場 所：平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル先端

取 材：可（但し、「事前登録様式（暫定供用式）」で事前申込みが必要）

### 問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局

開発建設部平良港湾事務所総務課

担当者：佐藤、福富

TEL：0980-72-4673

FAX：0980-73-8806



## 平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル暫定供用式

### 式次第（予定）

9：30頃 受付開始

10：00 開 式  
式 辞  
挨 拶  
来賓祝辞・来賓紹介  
事業紹介  
テープカット・くす玉開披（写真撮影）  
演舞披露

11：00頃 閉 式

※当日の状況等により変更する場合があります。

取材を希望される方は、別紙「事前登録様式」でお申込み下さい。

お車でお越しの際は、会場特設駐車場を御利用ください。



平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル 暫定供用式 会場案内図

日時:平成29年12月16日(土)10:00～(受付9:30～)

場所:平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル先端  
(駐車場有り)



※宮古空港から会場まで車で20分～25分程



内閣府

平成 29 年 12 月 6 日  
～美ら島の未来を拓く～  
沖 縄 総 合 事 務 局

沖縄総合事務局広報誌「群星」特別号の発行  
～半世紀を迎える沖縄振興について～

沖縄が昭和 47 年に日本に復帰し、沖縄振興が開始されて今年で 45 年となります。平成 24 年に施行された現在の沖縄振興特別措置法も前半期間を終え、あと 5 年で沖縄は復帰後半世紀を迎えます。

沖縄の置かれた様々な特殊事情に鑑み、沖縄振興としてインフラの整備、産業の振興等様々な事業が行われてきましたが、この沖縄振興の実績や課題について解りやすくまとめた冊子を、できるだけ多くの方に見ていただけるよう、「群星」の特別号として作成し、県民の方々に配布することにいたしました。

本資料が、県民の皆様の沖縄振興に関する理解の一助となり、今後の在り方について議論をしていただく際の参考となれば幸いです。

○広報誌「群星」特別号

- (1) 発 行 平成 29 年 12 月発行
- (2) 配 布 タブロイド判 12 頁 (平成 30 年 1 月より市町村等を通じ順次配布)
- (3) 配布先 沖縄県全世帯 (約 56 万世帯等)
- (4) 内容等
  - ・ 沖縄振興の概要、背景
  - ・ 沖縄振興の成果
    - ・ 社会資本整備
    - ・ 産業構造等
    - ・ 産業振興等
  - ・ 沖縄振興の課題等 など

※各戸配布に加え、平成 29 年 12 月 6 日午後 6 時より沖縄総合事務局ホームページ (<http://www.ogb.go.jp/>) において電子版を掲載します。

【本件問い合わせ先】

内閣府沖縄総合事務局

総務部総務課広報室 大城、宮城、仲間

電 話 : 098-866-0044

FAX : 098-860-1000

(12月 定例記者会見資料)

沖縄総合事務局の今後の行事予定（12月6日～1月17日）

[illegible]

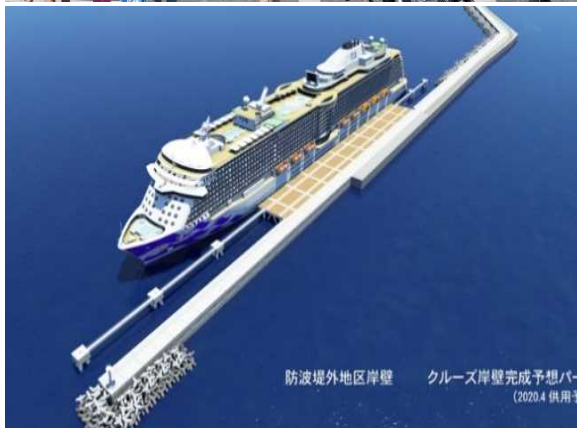




内閣府

2017

# 沖縄総合事務局十大ニュース



平成 29 年 12 月  
内閣府 沖縄総合事務局

## ★産地とアジアのかけ橋となる地域商社連携

成長するアジア市場では、世界中の国々や日本の各地域から特産品の輸出を目指して参入しており、競争の激化が進んでいます。事業規模が小さい管内の地域商社は現状維持には危機感を覚える一方で、自社単独での海外展開には人的にも資源的にも限界を感じ、これを打破するため、3月7日、県内の地域商社7社（※）による連携協定「食品輸出等に関する戦略的連携協定（FTP：Food Trade Strategic Partnership Agreement）」の締結を行いました。



管内において競合相手となる地域商社7社は、この連携協定締結を契機に沖縄県内外の農水畜産物・加工食品などの輸出拡大を目指し、海外事業における連携及び相互補完によりアジア市場における競争力強化に取り組みます。

※県内地域商社7社

- ・株式会社 新垣通商 ・合同会社 アンドワン ・株式会社 BRIDGES
- ・株式会社 沖縄県物産公社 ・株式会社 沖縄物産企業連合
- ・株式会社 萌す ・株式会社 JCC



FTP 締結式（平成29年3月7日）



## ★沖縄におけるバス自動運転実証実験

今年3月の南城市に続き、6月には石垣市において公道での自動運転距離が日本最長となる実証実験を行いました。また、その実験では全国初の試みとして一般の方に乗車してもらいました。

12月には比較的交通量の多い北中城村～宜野湾市間においても実証実験を行います。本実験では準天頂衛星や高精度三次元地図を利用した走行制御性能の検証や加減速制御の活用による車内転倒事故の減少、乗り心地改善の検証等を行います。



石垣市におけるバス自動運転実証実験

## ★さとうきび、17年ぶりの大豊作

沖縄の基幹作物であるさとうきびの平成28/29年期の生産量が、17年ぶりに90万トンを超え、93.7万トンの大豊作となりました。

これまでの、農家や関係機関が一体となった増産に向けた取組や、国、県などによる支援に加え、台風や病害虫による被害が限定的であったことも奏功しました。

今後も、関係者が一体となって、生産量の維持・拡大や農家所得の向上に向けて、取り組むこととしています。



北大東島のさとうきび畑



ゆがふ製糖の原料集積ヤード

## ★財政教育プログラム in 伊原間中学校

7月に石垣市立伊原間中学校において「財政教育プログラム」を開催しました。当プログラムは小中高生へのニュートラルな主権者教育の一環として、財政を通じて自分たちの国の将来について判断できる知識を育むために全国で実施しており、県内では今回が2校目となります。

学校授業において、最初に当局職員が身近な公共サービスを紹介し、それを支えるための会費として税金が集められていること、そして、財政を含めた社会の課題が将来の自分に大きく関わっていくことなどを説明しました。

その後のグループワークでは、生徒達自身で予算のシミュレーションを行い、財政について活発な議論が行われました。学校の先生からは「今回のプログラムは回答を導き出すものではなく、それぞれの考え方を出し合い、意見をまとめていくという参加型の授業で、生徒にはいい経験になった」とのご意見がありました。



当局職員による説明



グループワークの様子

## ★クルーズ船寄港数過去最多「宮古島市で初の乗合タクシー

### 実証事業を実施」

宮古島におけるクルーズ船寄港回数は、平成28年度89回、平成29年度は138回と過去最多の見込みです。

クルーズ船観光客に対する二次交通の供給により宮古空港を利用する地域住民や観光客・ビジネスマンなどの移動手段確保が課題となっていまし



宮古島市における乗合タクシー実証事業



た。このような課題を踏まえ、当局では沖縄県ハイヤー・タクシー協会及び同協会宮古支部の協力の下、空港と中心市街地を結ぶ乗合タクシー「宮古島くるりんバス」の実証運行を実施しました。

「宮古島くるりんバス」の試験導入で空港利用者の移動手段の確保や利便性向上が期待されます。



宮古島くるりんバスのチラシ

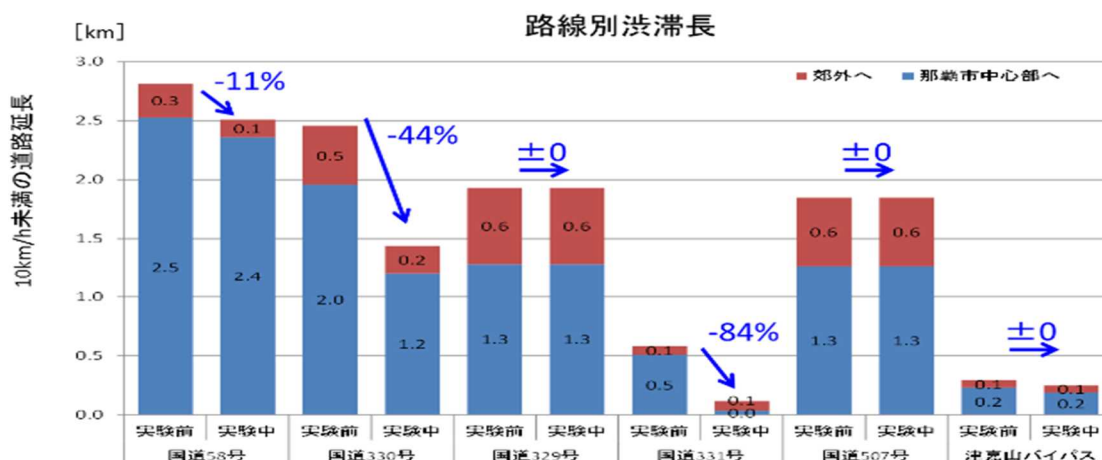
## ★公共交通への転換「わった～バス大実験」大きな効果

9月16日（土）～22日（金）に県民意識をマイカーから公共交通へ変えるべく「わった～バス大実験」と銘打ち、企業など約160社、約1900人の協力の下、バス転換、時差出勤などの実証実験を行いました。

主要な国道において、朝7時台の交通量や渋滞長が減少し、6割が継続等の意向を示すなど大きな効果が見られました。



「わったーバス大実験」開始式

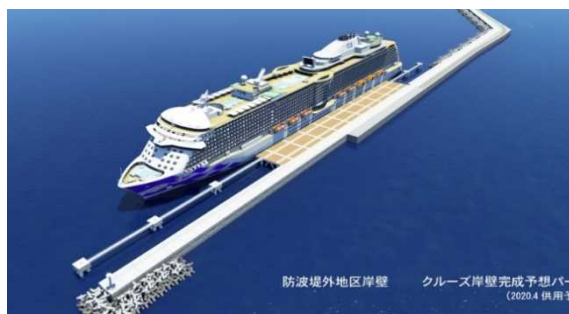


対象期間 実験前: 2017.9.7～9.15の平日 期間中: 2017.9.16～9.22の平日  
集計範囲 那覇市と隣接市町村(那覇市、浦添市、豊見城市、南風原長、西原町)  
※3サンプル以上のリンクを集計

## ★平良港が飛躍的に発展！全国1番乗りの「平良港国際クルーズ拠点整備事業」起工式開催

9月30日、官民連携による国際クルーズ拠点として全国1番乗りとなる「平良港国際クルーズ拠点整備事業」の起工式が開催されました。

本事業は、クルーズ専用岸壁、岸壁前面の泊地、背後の臨港道路を国が、旅客ターミナルビルをクルーズ船社であるカーニバル・コーポレーション&PLCが、それぞれ建設するものです。事業完了後には、最大14万トン級のクルーズ船が係留できることになり、今後ますます増大するクルーズ需要に対応するなど、観光客の一層の増加が期待されます。



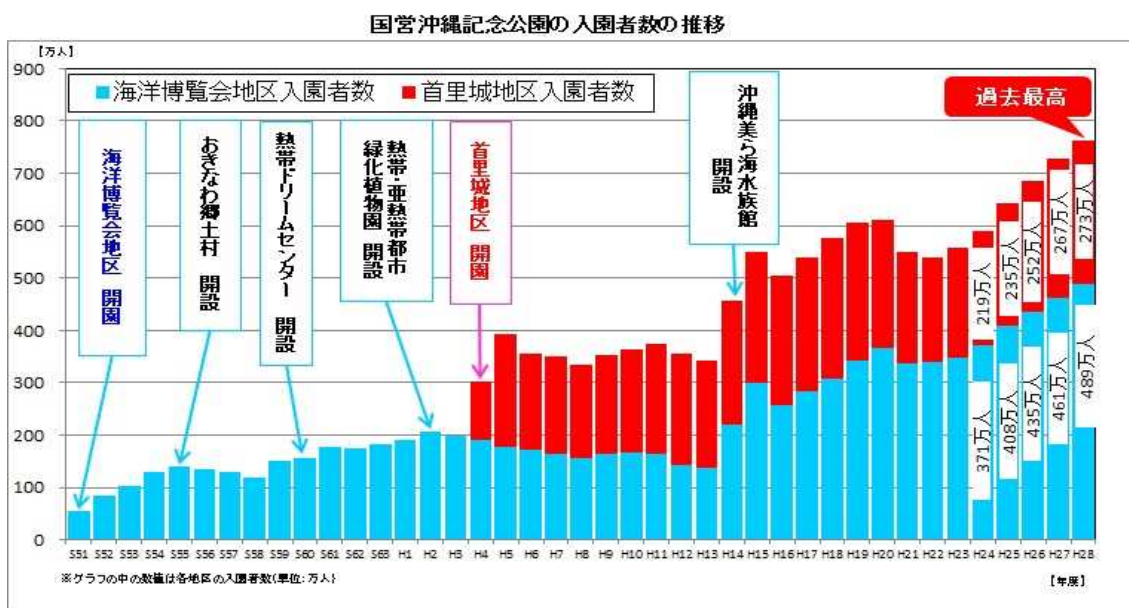
平良港クルーズ岸壁完成予想パース



起工式での鍬入れ式

## ★国営沖縄記念公園入園者数が4年連続で過去最高更新！

平成28年度の入園者数は762万人となり、平成25年度から4年連続で過去最高を更新しました。



海洋博覧会地区は489万人（前年度比6.1%増）、首里城地区も273万人（前年度比2.1%増）と両地区ともに増加しました。

なお、首里城地区については、平成4年11月3日の開園から今年で25周年を迎えました。



海洋博覧会地区（中央ゲート）



首里城地区（古式行列）

## ★沖縄黒糖の生産者団体と香港バイヤーによる覚書締結

沖縄総合事務局では、県産農林水産物・食品の輸出促進に向け、沖縄県をはじめとした関係機関・団体等と連携・協力の上、各種施策に取り組んでいるところです。

このような中、11月24日に沖縄の離島8島で生産される黒糖について、生産者団体である「沖縄県黒砂糖協同組合」と香港を拠点に東南アジアで砂糖類を販売する「太古糖業有限公司（Taikoo Sugar）」間で、「沖縄黒糖のプロモーションに関する覚書」の締結式が行われました。

これにより今後、アジア地域において沖縄黒糖の認知度が向上すると共に、沖縄黒糖をはじめとした県産農林水産物・食品の輸出の増加が大いに期待されます。



覚書署名の様子



締結式出席者



## ★国営かんがい排水事業伊江地区の完工式の開催

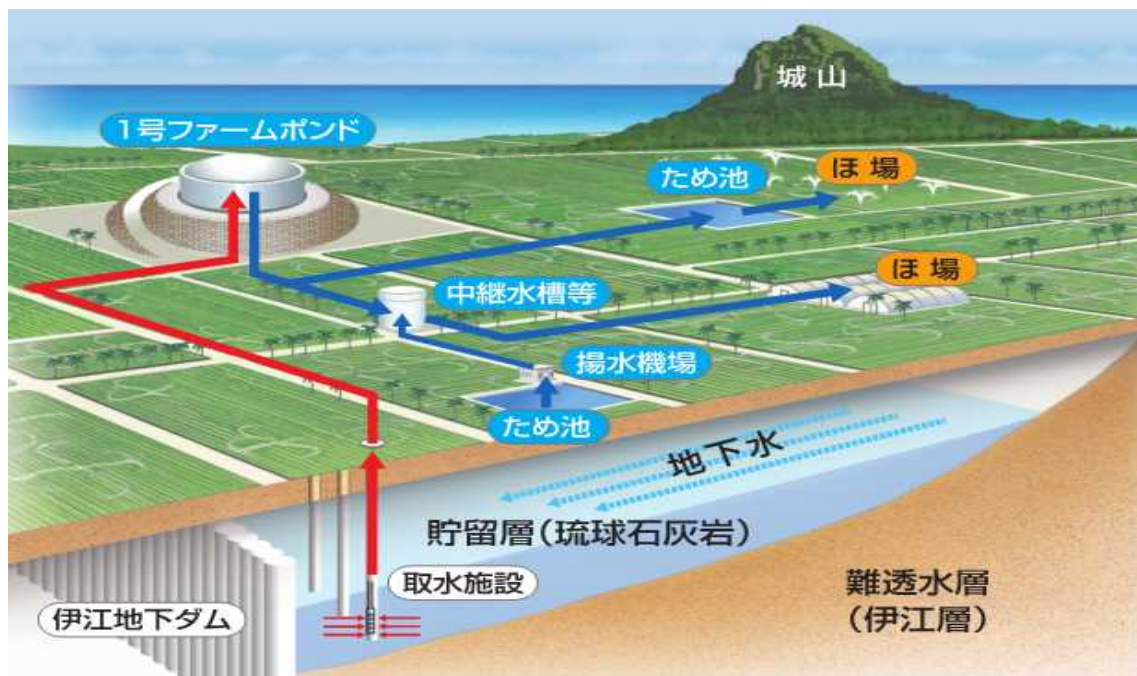
国営かんがい排水事業伊江地区は、伊江村の 668 h a の畑作地帯に安定的なかんがい用水を供給し、農業の生産性の向上、近代化及び経営の安定を目的として、平成 16 年度に事業着手しました。

その後、14 年の歳月と、約 270 億円の事業費を投入し、地下ダムをはじめ、揚水機、用水路及び関連事業による末端用水路等を整備し、平成 29 年 12 月 1 日に完工式を迎えました。

今後は、地下ダムと既設ため池による安定した用水供給により、高収益作物等の生産拡大、新規作物の導入や単収の増加が図られるとともに、従来のため池からほ場までの用水の運搬等の労力の軽減や、営農経費の節減が期待されます。



伊江地区完工式の様子



伊江地下ダムの構造図



## 半世紀を迎える沖縄振興

昭和47年に沖縄が日本に復帰して45年が経過しました。これまで政府は沖縄の社会資本整備や産業振興に取り組んできました。沖縄の経済社会は、復帰当時から大きく発展し、今日に至っています。

沖縄振興はあと5年経過すると、半世紀を迎えます。県民の皆様が、半世紀を迎える沖縄振興の今後を考えていただけるよう、これまでの実績と課題をご紹介します。

沖縄振興って？

僕が案内するね。

### 他県に比べて高い補助率

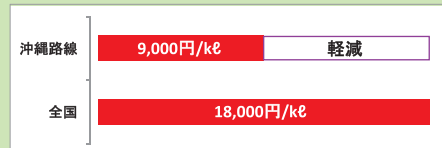
沖縄振興特別措置法に基づいて、公共事業における国の負担割合を大きくし、沖縄での公共投資を支援



### 税における優遇措置の一例

#### 航空機燃料税

沖縄路線に係る航空機燃料税を1klあたり18,000円から9,000円に引き下げ

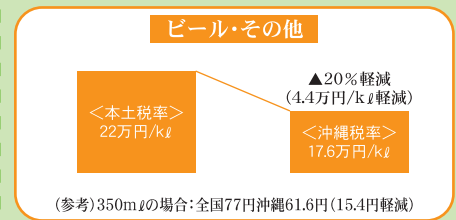
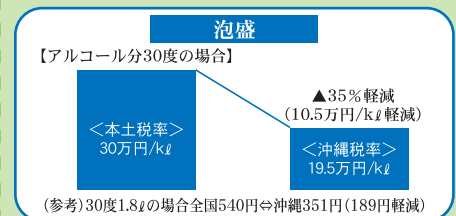


＜減収効果＞  
・沖縄路線航空機に係る減収額 平成26年度:116億円  
（出典:国税庁長官官房企画課税務統計航空機燃料税）



#### 酒税

復帰前から引き続いて酒類を製造していた製造場が、県内にある製造場で製造し、県内に出荷する酒類について、酒税を軽減



沖縄振興は、沖縄の様々な特殊事情から、沖縄だけに特別な措置を講じているものなんだ。

へえ～、そういうことだったんだ。

でも、特殊な事情ってなんだろう？

### 特殊な事情というのは…

- ①第二次世界大戦における沖縄戦の戦禍とその後27年間にわたって日本の施政権外にあったという歴史的事情
- ②本土から遠く離れた広大な海域に多数の離島が点在するという地理的事情
- ③米軍施設・区域が集中しているという社会的事情

などの特殊な要因のこと。特別な措置として、10年の時限法である沖縄振興特別措置法などが5回にわたって制定され、沖縄振興計画が策定されてきた。沖縄振興を担当する国務大臣、内閣府の沖縄担当部局、国会における特別委員会といった組織が設けられている。予算の内閣府一括計上のほか、高率補助、租税特別措置、沖縄振興開発金融公庫による出融資、近年は沖縄県独自の一括交付金の創設が講じられている。



## 背景

### 沖縄の特殊な事情

「沖縄の特殊な事情」というのは  
こういうことなんだ。



#### 『歴史的な事情』・・・日本で唯一の地上戦、戦後長年にわたる米軍統治



上陸する米軍



焦土と化した沖縄



破壊されつくした首里城



星条旗を掲げる米軍



法定通貨

「B円」「ドル」



右側通行

写真提供:沖縄県公文書館所蔵

1945年

長年にわたる米軍統治

#### 『地理的な事情』・・・本土からの遠隔性・広大な海域に点在する島々



本土からの遠隔性



広大な海域に点在する島々

ずいぶん  
いろんなことが  
あったんだなあ

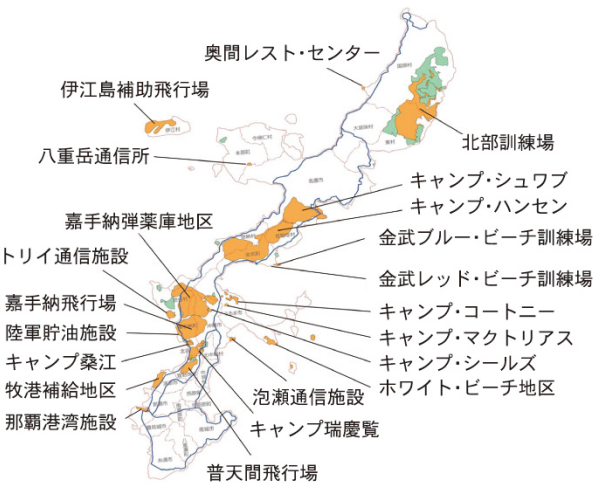


これから  
どうなって  
いくのかなあ

1972年

政府による沖縄振興

#### 『社会的な事情』・・・沖縄に集中する米軍基地



そうだね。でも、これからは、  
東アジアの中心に位置する  
という沖縄の利点をもっと  
もっと活かして、東アジア  
各国の元気を沖縄に取り  
込んで自律発展していこう  
という努力も必要だと思う  
んだ。政府としては、その  
お手伝いをやっているん  
だよ。



2022年  
復帰50年

#### 東アジアの中心・万国津梁



普天間飛行場



# 道路

沖縄振興で、僕たちの暮らしはどうなったの？

かつては、つづら折りの道が続き、  
「名護の七曲い<sup>ななまが</sup>」と呼ばれていたんだよ。

## ■名護市の国道58号



昔



現在

写真提供: 沖縄県公文書館所蔵

## ■国際通り



昔



昔



現在

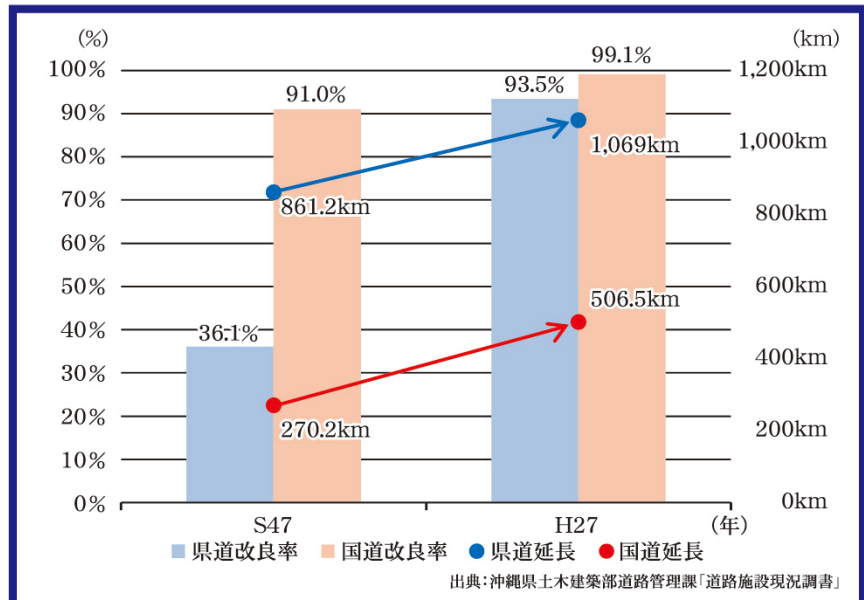
写真提供: 沖縄県公文書館所蔵

写真提供: 沖縄県公文書館所蔵

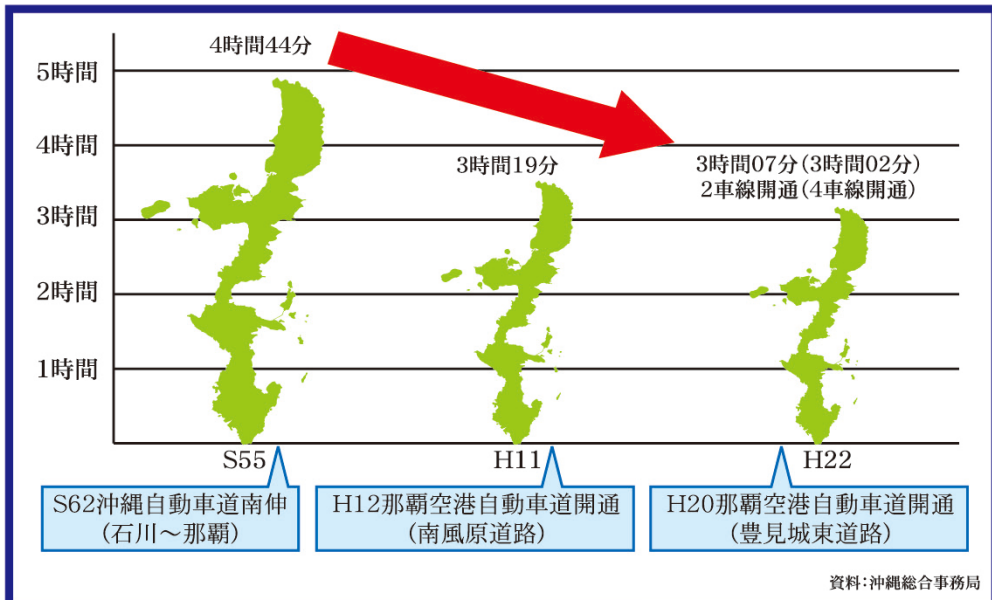
昔はこんな道  
だったんだね。

住民の暮らしを支える交通基盤としての  
道路の整備には、復帰以降約3.5兆円※が  
投下されているんだ。

## ■沖縄県の道路延長と改良率



## ■沖縄本島縦貫所要時間(国頭村奥～糸満市伊原)



その結果...

国道の長さは約2倍となり、県道の質は大幅に改良され、沖縄本島を縦貫する  
時間は5時間弱が3時間程度にまで短縮されているよ。



# 港 湾



昔

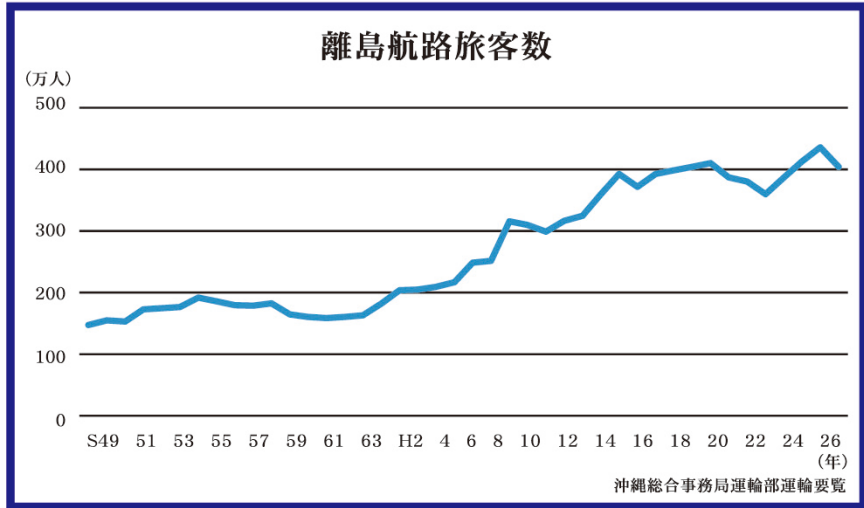
沖縄の物流拠点  
「那覇港」



現在

(沖縄県公文書館所蔵)

## 離島航路



石垣港

港湾は1兆円強※かけて整備され、県民の生活物資の輸送や県産品の県外輸送などに大きな役割を果たしているんだよ。

私たちの暮らしに、とっても大切な役割を果たしているんだね。

# 空 港

## 那覇空港滑走路増設事業の概要

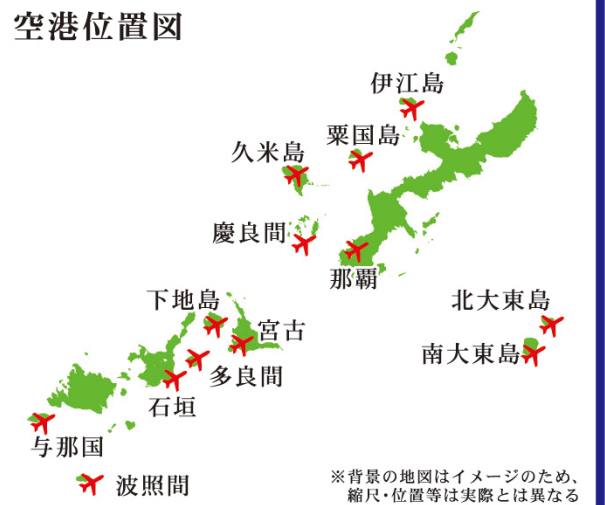
- 埋立面積約160ha
- 離発着の処理能力  
13.5万回→18.5万回/年  
(回転翼機・深夜離発着便は除く。)
- 総事業費 約1993億円
- スケジュール  
平成26年1月 工事着手  
平成32年3月31日 供用開始(予定)



((C) Digital Globe)

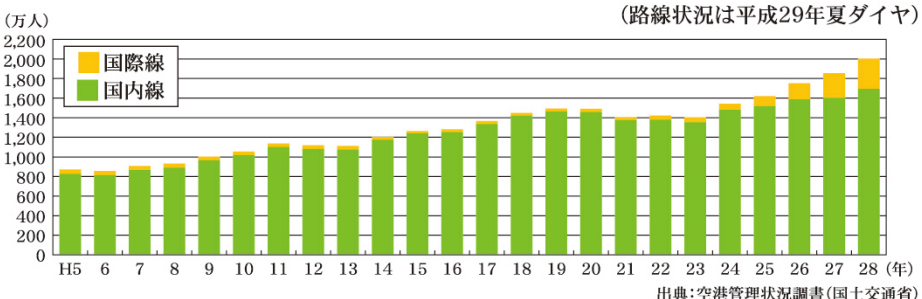
## 沖縄の空港

### 空港位置図



## 那覇空港の利用状況(旅客)

県内(6路線)  
久米島、北大東、南大東、宮古、石垣、与那国  
県外(25路線)  
新千歳、仙台、茨城、成田、東京、新潟、小松、静岡、中部、大阪、関西、神戸、岡山、広島、岩国、松山、高松、北九州、福岡、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、奄美、与論  
国際(14路線)  
ソウル、釜山、大邱、北京、天津、上海、杭州、南京、西安、香港、台北、台中、高雄、バンコク  
(路線状況は平成29年夏ダイヤ)



空港は約4000億円※かけて整備され、県内外を結ぶ県民の足として、また、観光客の足として利用され、沖縄経済を支える重要なインフラなんだ。

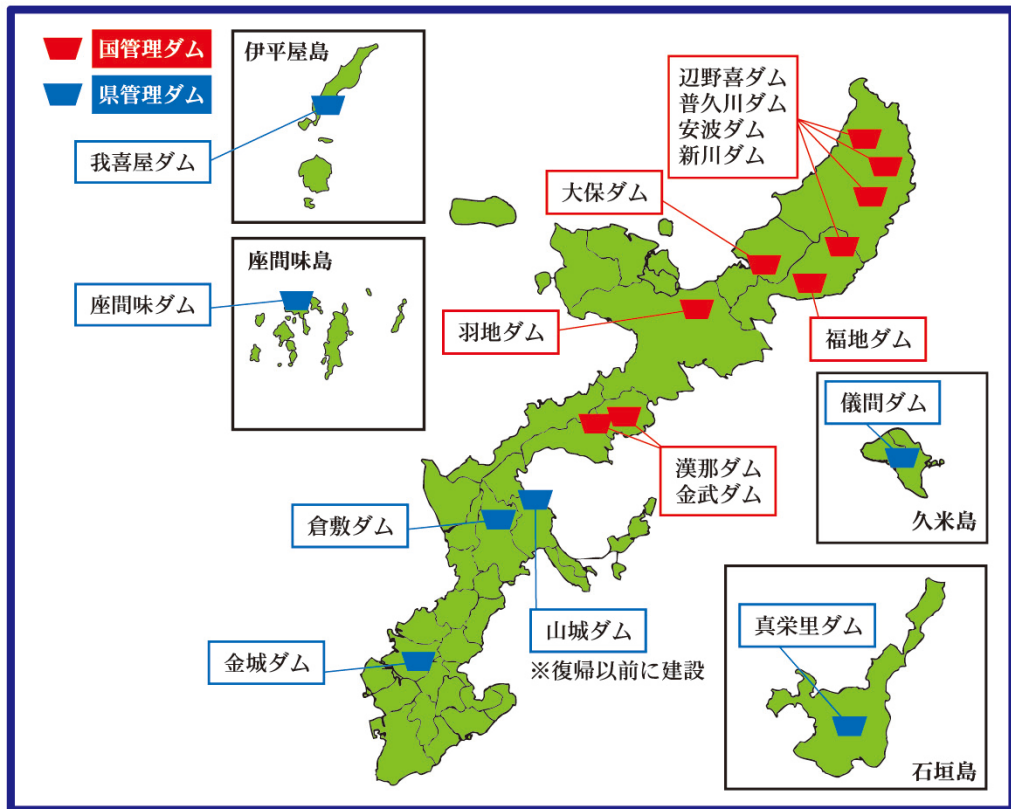
空港の整備も進み観光客の増加につながっているんだね。新しい滑走路の完成が待ち遠しいなあ。

※社会資本整備に係る投資額については、事業費と国費を混在して計上している、交付金により整備された事業は含んでいないなど、様々な条件に基づいて算出したものであり、大まかな目安としてお考えください。



# ダム

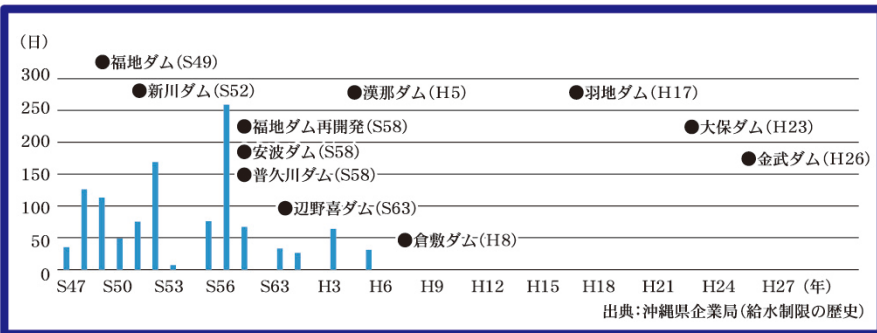
## ■ダムの整備状況



## ■福地ダム



## ■給水制限の日数(沖縄県企業局)

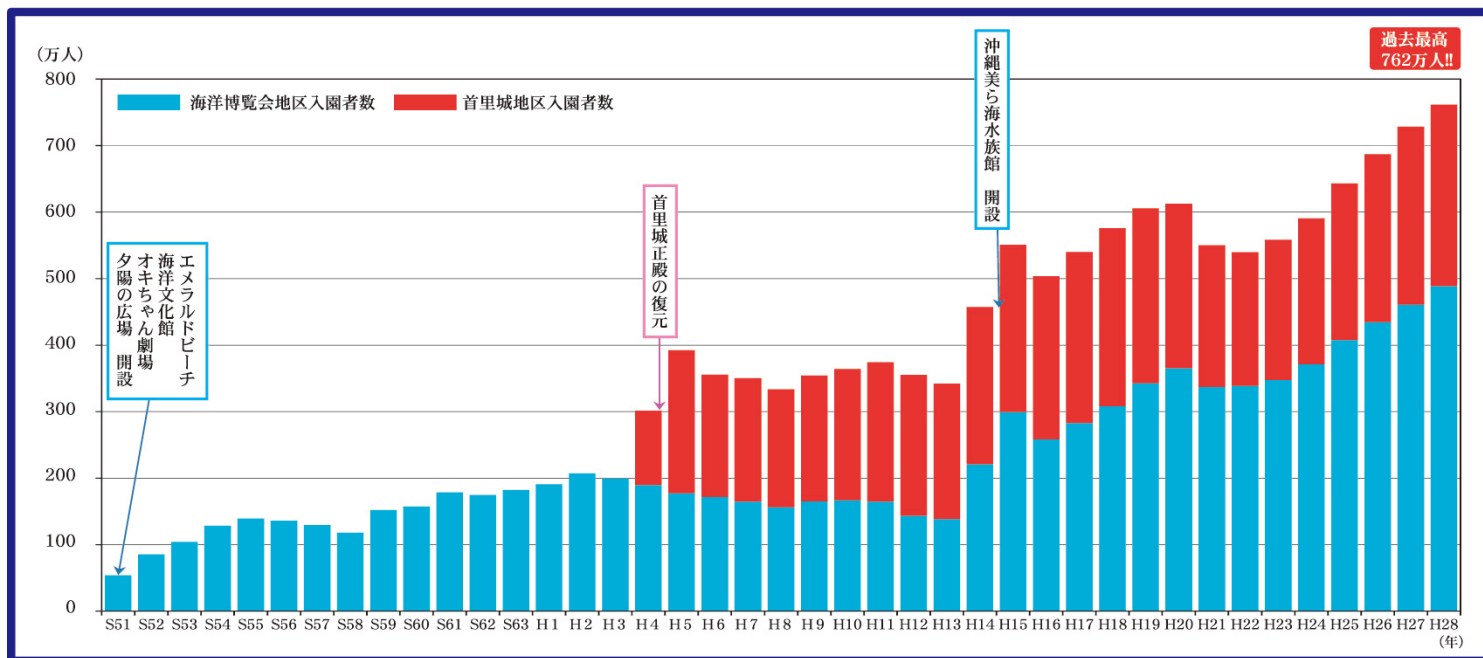


ダムについては、約4700億円※かけて、北部地域を中心に多目的ダムなどが整備され、復帰直後には給水制限が100日を超える年もあったけど、平成6年以降は、ダムの貯水のため給水制限は実施されていないんだ。

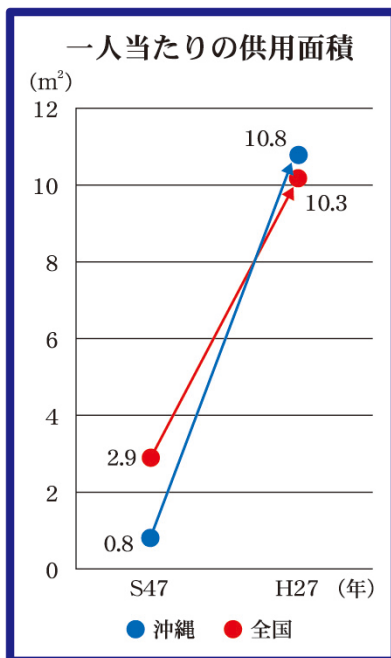
んかしえ～ゆう  
みじえ～  
とうまいたんや～。

# 公園

## ■国営沖縄記念公園の入園者数の推移



## ■都市公園の整備状況



沖縄県総合運動公園



都市公園については、沖縄県総合運動公園、首里城公園、沖縄美ら海水族館などが整備され、一人当たり供用面積も全国並みとなっているよ。

やんやあ...



首里城正殿



沖縄美ら海水族館

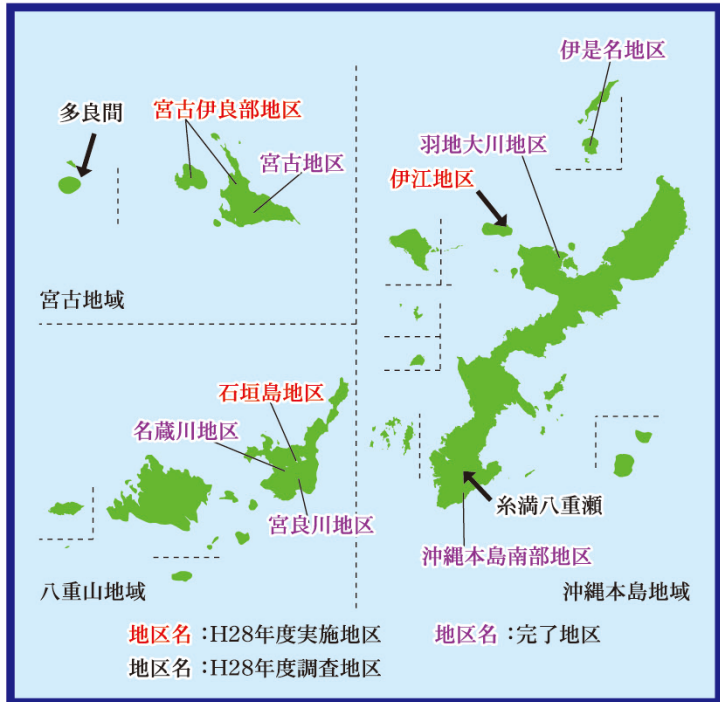
首里城ん、沖縄美ら海水族館ん、  
むるうちな一ぬ宝やんど～。



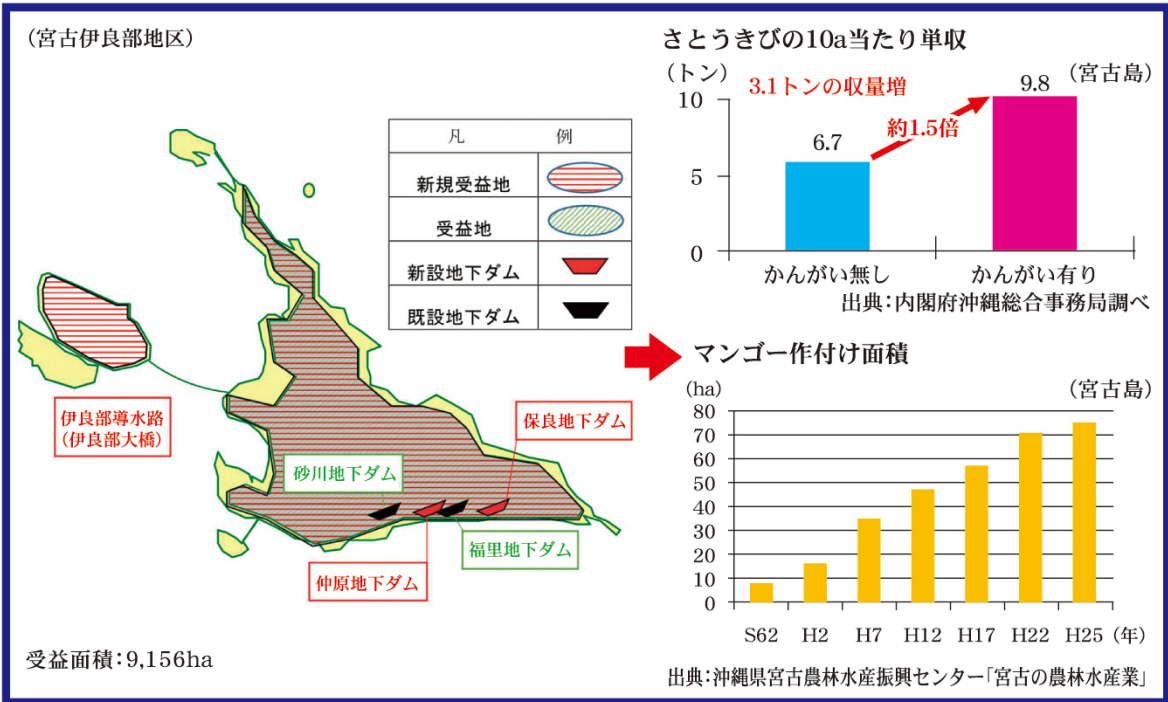


# 農業基盤

## ■国営かんがい排水事業地区



## ■国営かんがい排水事業の効果



農業基盤は約1.4兆円※かけて整備され、畑地のかんがい整備率は約6割と全国平均を上回っているよ。干ばつの被害は減ったし高く売れる野菜や果樹の栽培も増えてきたんだ。漁港は約4000億円※かけ、岸壁整備率は全国並みとなっているんだ。

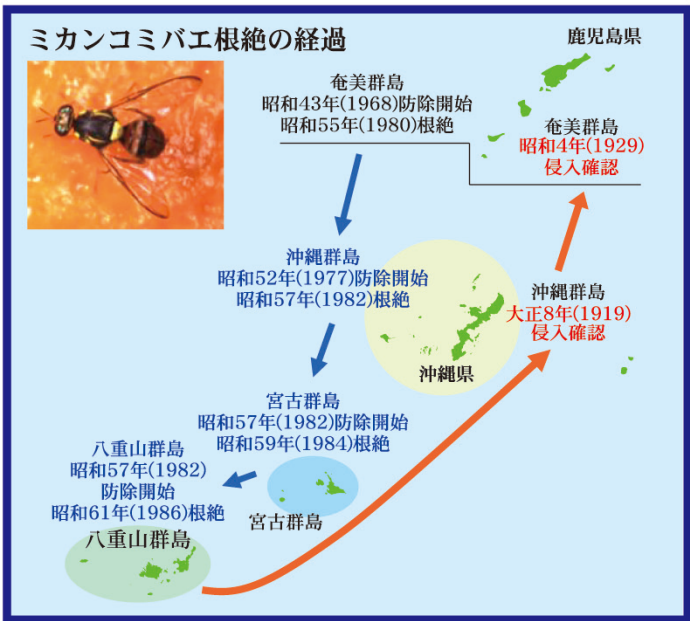


宮古島がマンゴーの産地になったのは農業基盤整備が、大きな役割を果たしたんだね。



# 病虫害駆除

## ■ミカンコミバエ



## ■ウリミバエ



## ■オウシマダニ

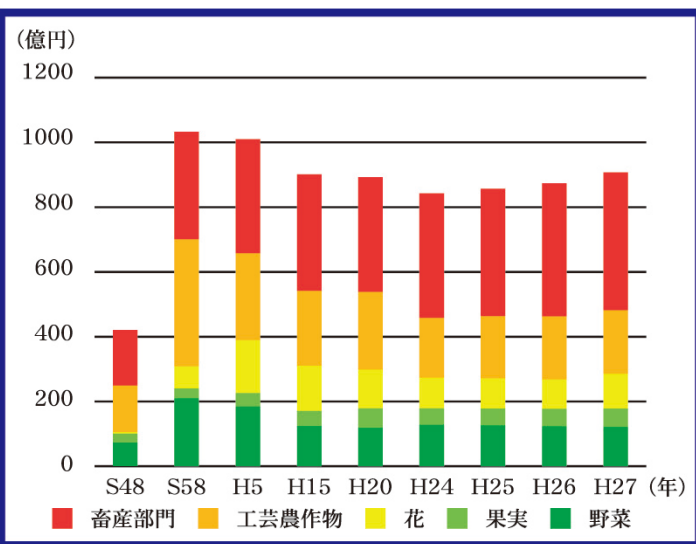


果実や野菜類に甚大な被害を与える害虫や、家畜に被害を与えるオウシマダニの駆除なども行ったんだ。その結果、ミカン類やゴーヤーなどが本土に出荷できるようになったんだよ。

八重山で畜産が盛んになったのも、東京にゴーヤーを出荷できるのもそういう理由があったんだね。納得。



## (参考) 農業産出額及び部門別構成比





# 教育

## ■屋内運動場(体育館等)の設置率 ■公立学校の整備状況

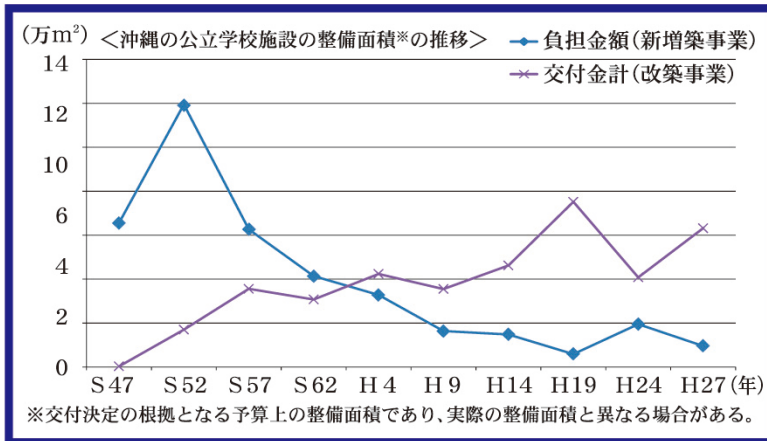
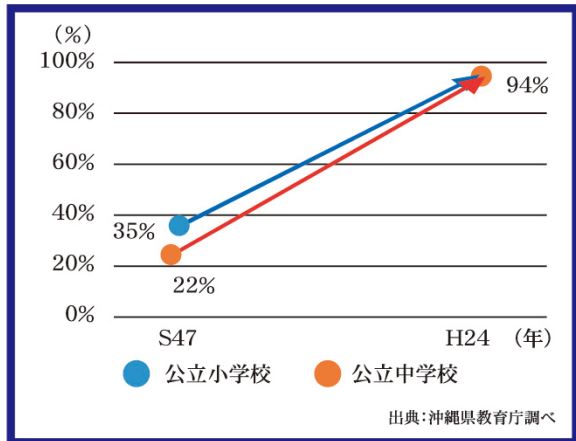


写真: 金武町教育委員会提供

## ■沖縄科学技術大学院大学(OIST)日本トップクラスの研究教育機関

OISTと他大学との論文統計比較

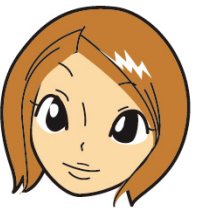
大学名	「Web of Science」に掲載された論文数	相対被引用度	トップ10%論文率	国際共著率
OIST	716	1.22	14.11	52.51
東京大学	75,197	1.21	12.78	30.56
京都大学	55,400	1.12	11.56	27.86
大阪大学	44,334	1.05	10.81	26.05
マサチューセッツ工科大学(米)	50,697	2.43	27.98	42.06
オックスフォード大学(英)	70,456	1.86	20.63	53.95
清華大学(中国)	48,595	1.12	12.31	27.98

■ OISTが上回る □ OISTが下回る



恩納村にあるOISTの広大なキャンパス(写真: OIST)

これから  
楽しみだわ



復帰後、校舎の新增築が行われ、現在は老朽化が進んだ校舎の改築、耐震化などが行われているんだ。OISTは、世界最高水準の教育、研究を行うことを目的として設立されたんだ。

# 医療



沖縄県立南部医療センター・こども医療センター



県立中部病院をはじめとする県立病院や琉球大学附属病院などの病院が整備され医師数、病床数も全国並みとなっているよ。



病気になっても  
心配ないね。

## ■主な病院

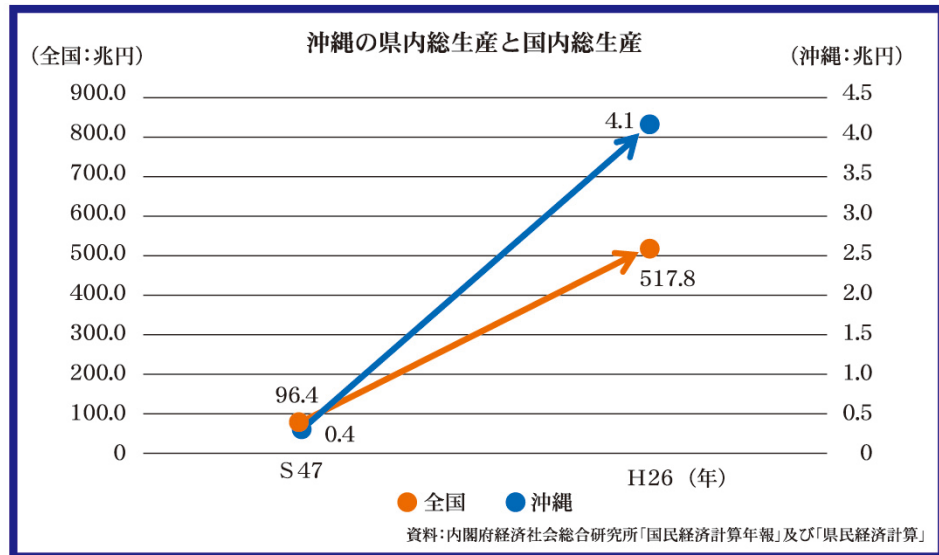




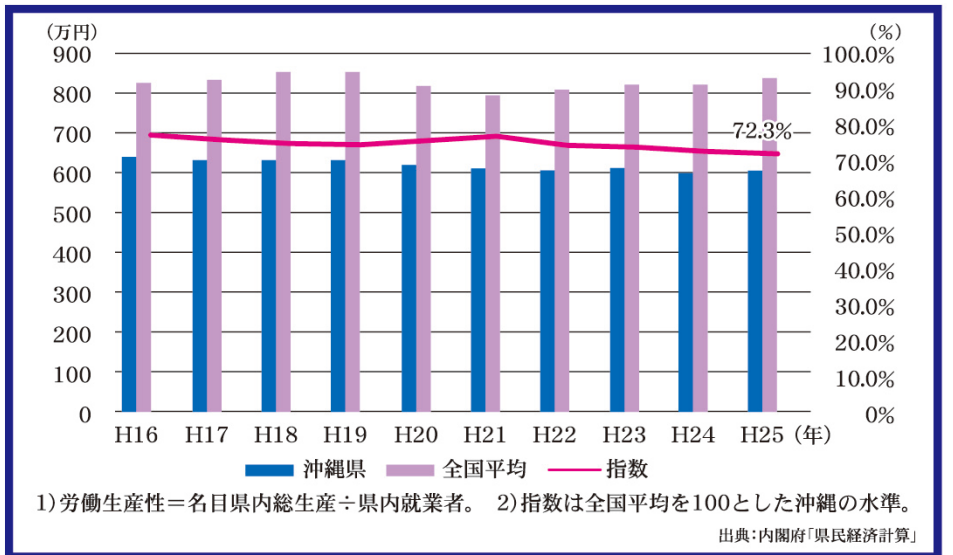
# 産業・雇用

## ■産業構造について

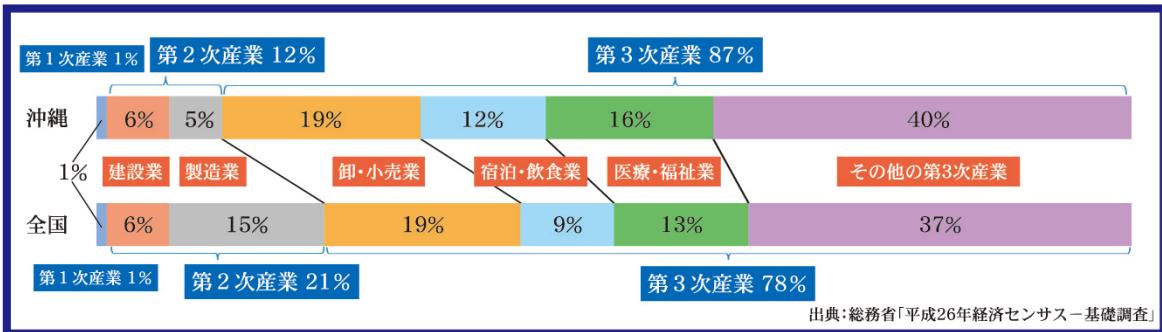
### ■県内総生産(名目)



### ■労働生産性の推移



### ■産業別従業者割合

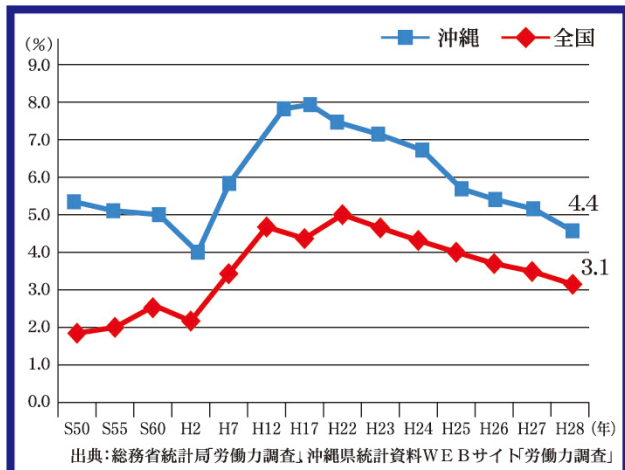


産業構造を見ると、全国と比較して製造業の割合がとっても低いんだ。大企業も少なく、大多数が中小企業、第3次産業で働いており、非正規雇用者率は全国一高いんだ。

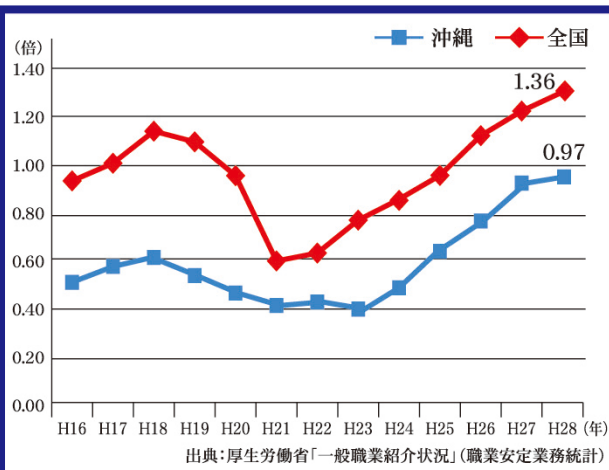


## ■雇用形態と県民所得について

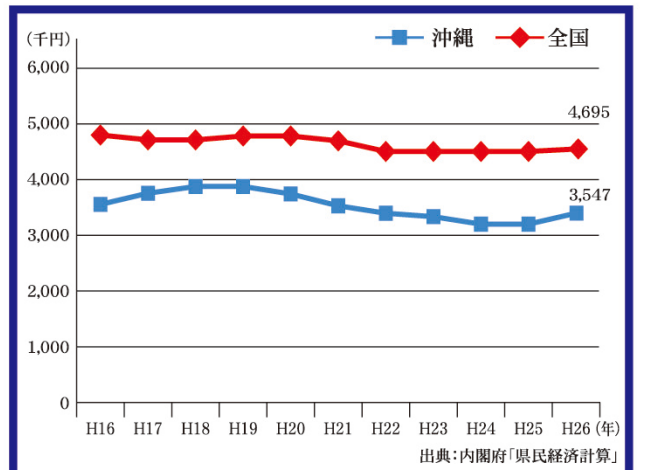
### ■完全失業率



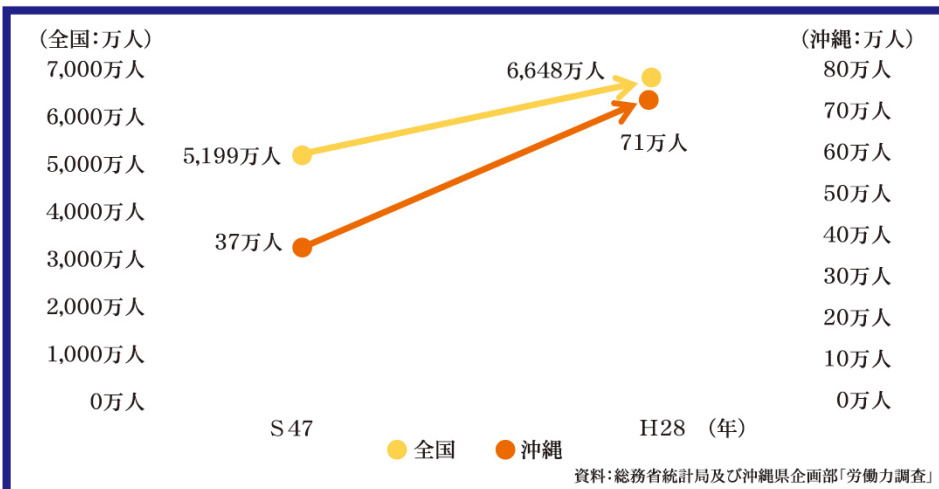
### ■有効求人倍率



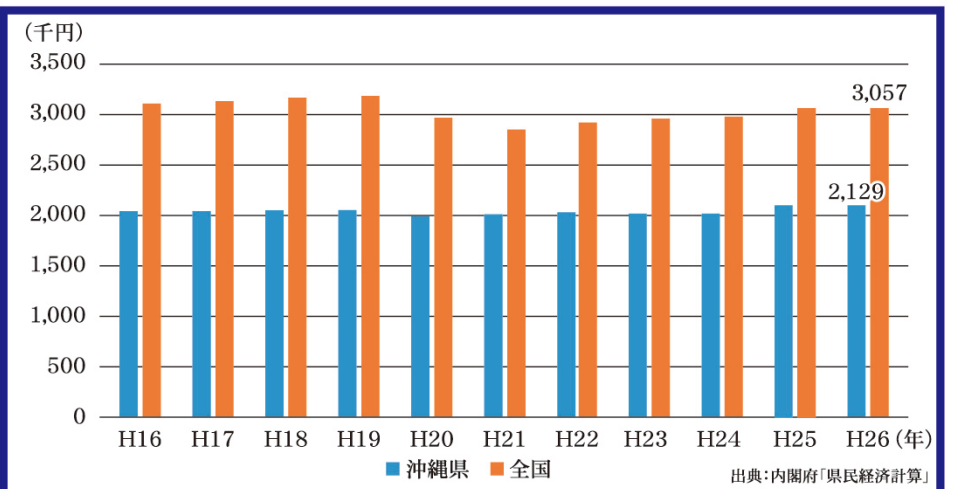
### ■雇用者一人当たりの雇用者報酬の推移



### ■労働力人口



### ■沖縄県と全国の一人当たり県民所得の推移



沖縄の県民所得は全国一低いと聞いたことがあるよ。

お菓子などの食べ物を作ったり、お酒を造ったりする会社はたくさんあるよね。観光客もたくさん沖縄を訪れているから、そういう人たちに商品やサービスを提供できれば、もっともっと儲けられるんじゃないかなあ...



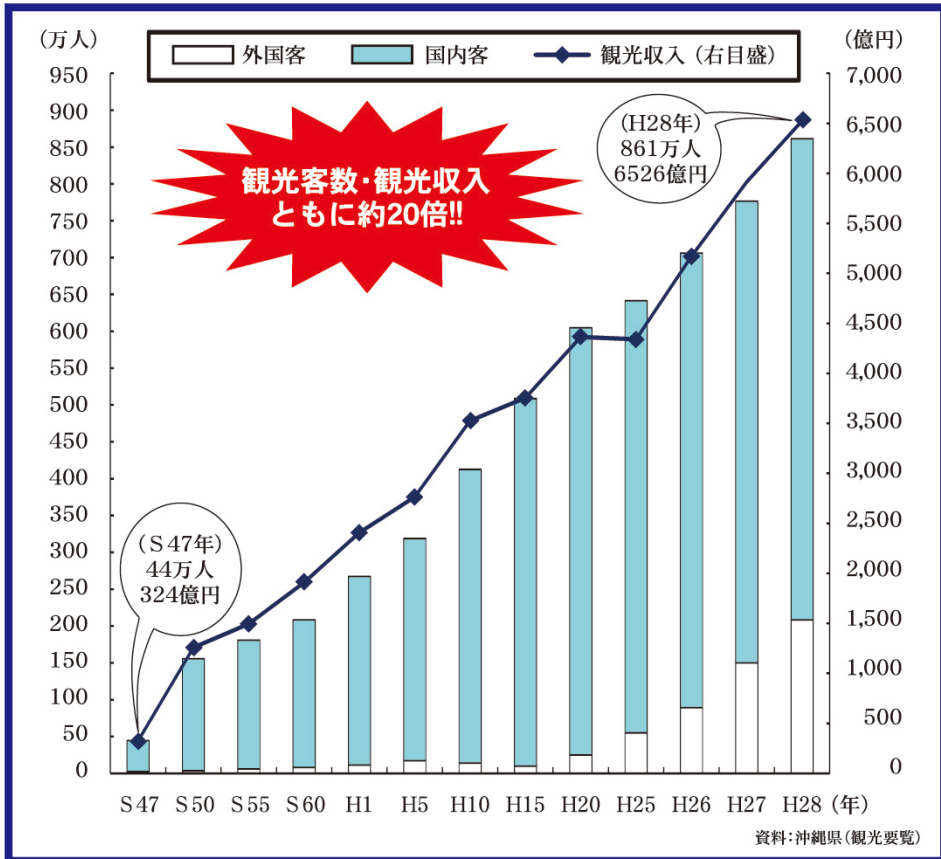
そうなんだ。だから、政府としても、沖縄の産業の振興に力を入れているんだ。



# 産業の振興

## 観光

### ■入域観光客数・観光収入の推移



観光客も観光収入も着実に伸びてきているんだ。

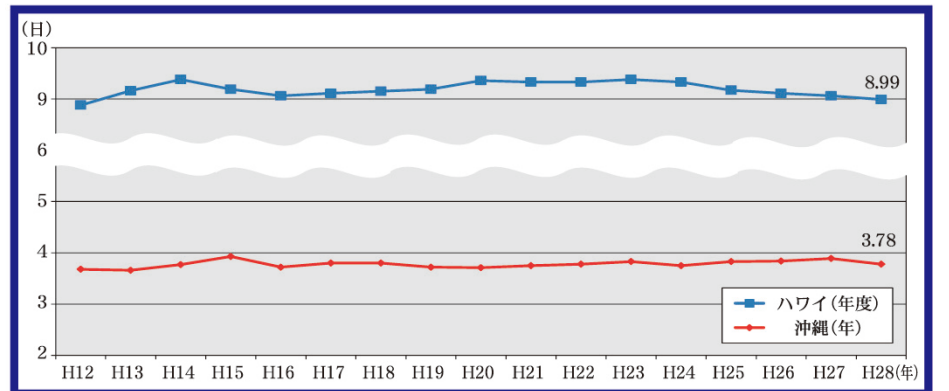


でも、喜んでばかりもいられないんだ。

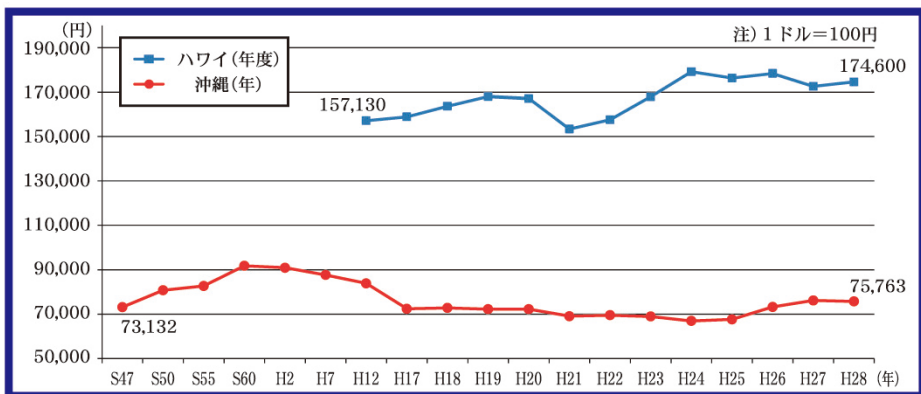
さすが、観光立県だね。



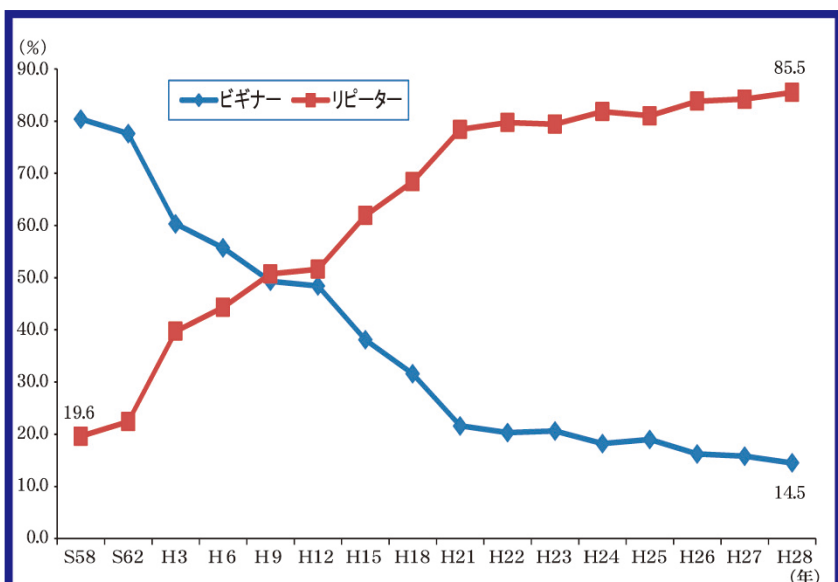
### ■平均滞在日数



### ■平均消費額(暦年)



### ■初回来訪とリピーター率の推移



問題解決のためには、自然、歴史、文化といった観光資源を十分に活かしている？  
質の高い財、サービスを提供している？  
また、そのために必要な人材が確保されている？  
人材確保のために必要なことはなされている？  
観光客をお迎えするインフラは整備されている？  
日本、世界に向けて沖縄を十分に発信できている？  
など、考えなければいけないこともたくさんあるんだ。



そうかぁ。確かに喜んでばかりいられないね。もっともっと沖縄を楽しんでもらえるように僕も何か考えるよ。

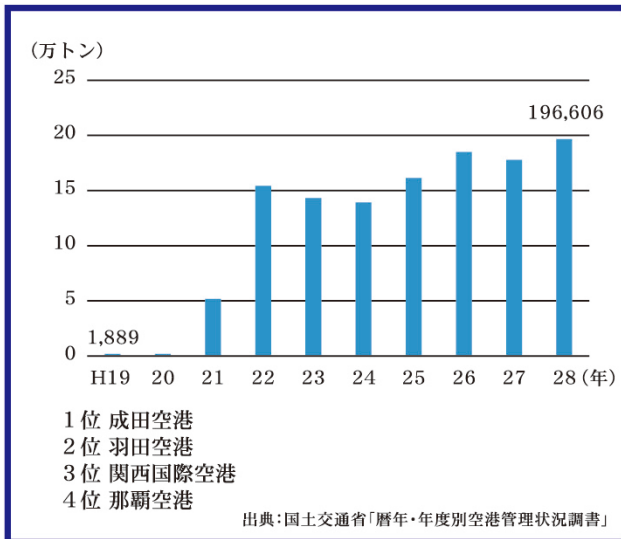


## 国際物流

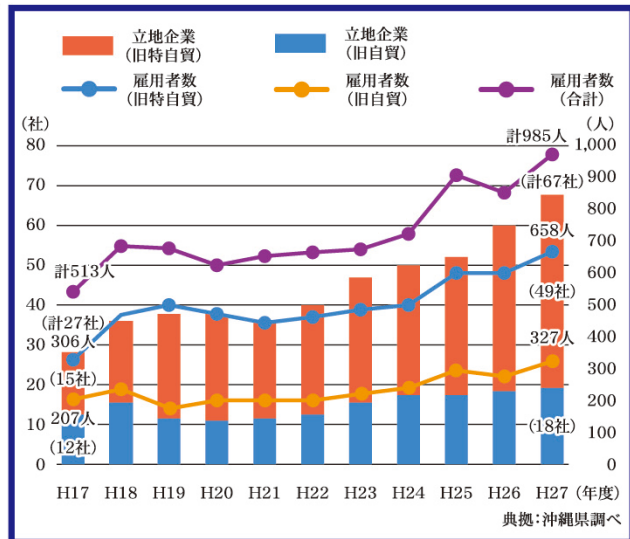
### ■那覇空港の利用状況(国際貨物)



### ■那覇空港の国際貨物取扱量



### ■立地企業数及び雇用者数



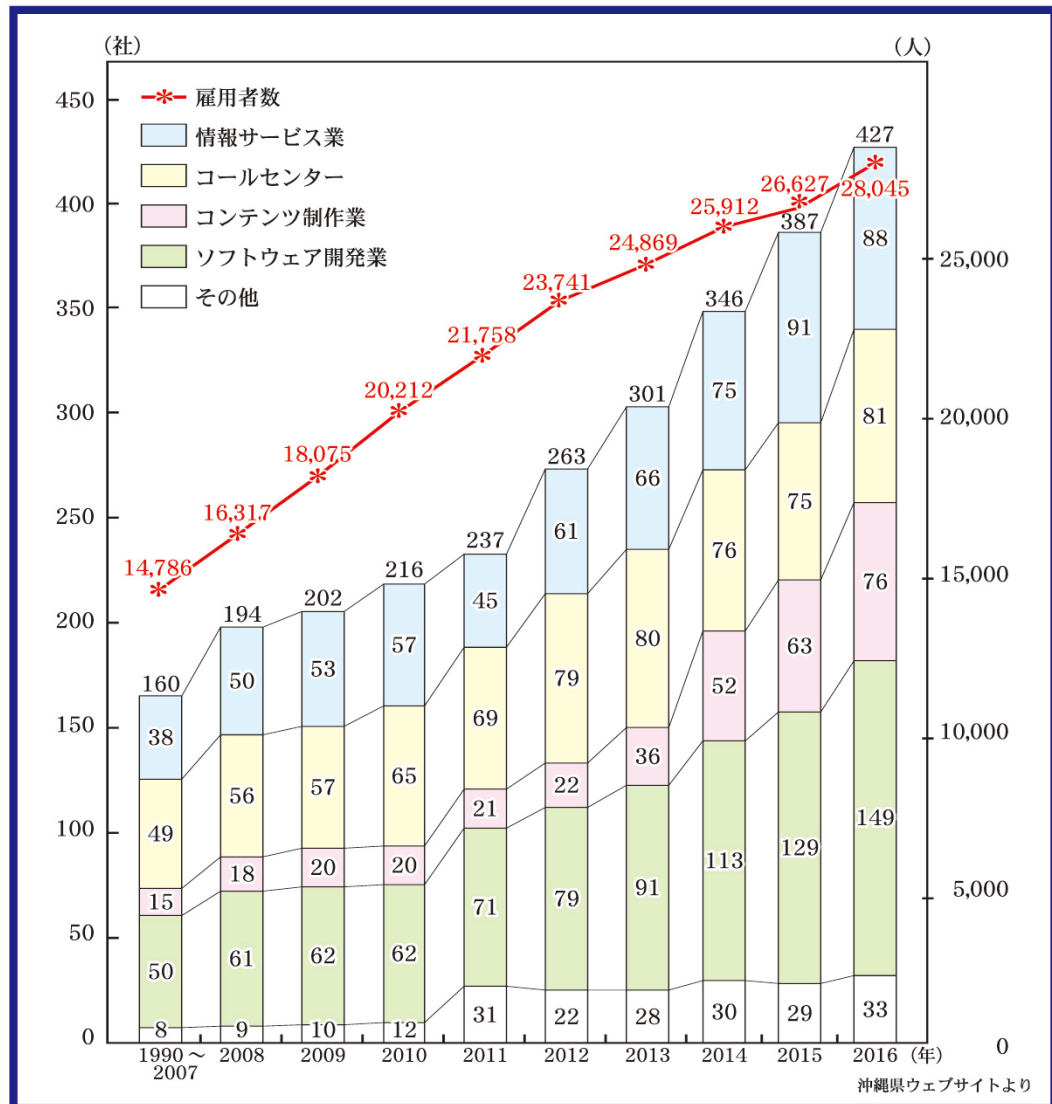
成長する東アジアの中心に位置する沖縄の地の利を活かした産業の発展が期待されているんだ。那覇空港の国際貨物取扱量は飛躍的に伸びてきたんだ。

アジアに近いというのは、沖縄の最大の強みってわけだ。

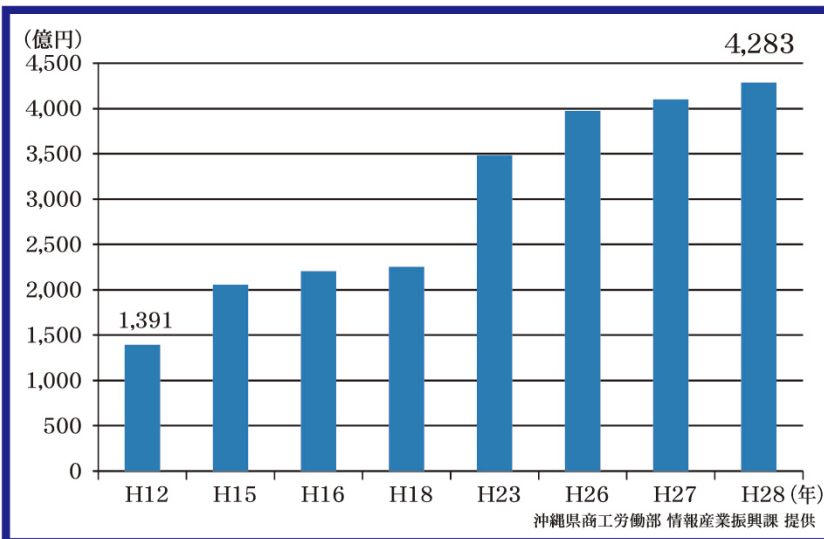


## 情報通信産業

### ■沖縄県に立地した情報通信関連企業数の推移



### ■沖縄県情報通信関連産業生産額



「Ryukyufrogs」が主催する県内学生の「米国シリコンバレー」への派遣の様子(写真提供:Ryukyufrogs)



情報通信産業の振興にも努めているんだよ。その結果、企業の立地数、雇用者数ともに大きく伸びているよ。

これからの課題は、情報通信産業全体の高度化が必要じゃないかな。例えば、サイバーセキュリティ対策やビッグデータ解析の人材育成などの取組が期待できるんじゃないかな。



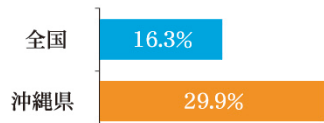
なるほどね。



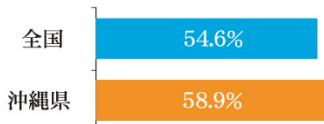
# 生活

## ■沖縄における子どもの貧困対策

### <子供の貧困率>



### <ひとり親世帯の子供の貧困率>



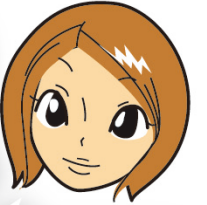
出典：厚生労働省「国民生活基礎調査」  
沖縄県「沖縄子ども調査（調査結果概要版）」

学習支援や子ども食堂の様子



最近、大きな関心が寄せられている子どもの貧困率は全国では16.3%だけど沖縄県では29.9%もあるんだ。沖縄の社会問題となっているんだよ。

3人に1人が困っているってことなんですね。ずいぶんひどい状況なんですね。



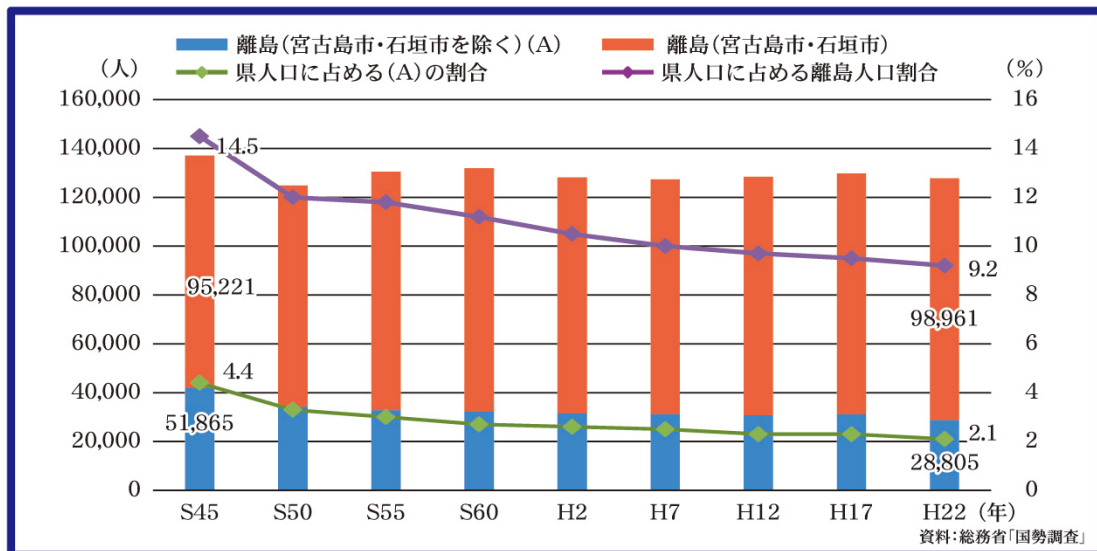
だから政府は、県、市町村等と連携して、沖縄の子どもの貧困対策にも取り組んでいるよ。具体的には、子ども支援員の配置や大学コンソーシアム沖縄と連携した学生ボランティアの派遣、子どもの居場所支援といった緊急対策事業を実施しているんだ。

時間がかかるかもしれないけど、しっかりと取り組んで欲しいと思います。

この問題の解決のためには、国・県・市町村が連携して対策を進めることはもちろん、社会全体が協力して取り組むことが大切じゃないかな。

# 北部・離島

## ■離島人口の推移



多くの観光客で賑わう座間味港 座間味村提供

## ■交流事業



東村慶佐次川でカヌーを楽しむ修学旅行生



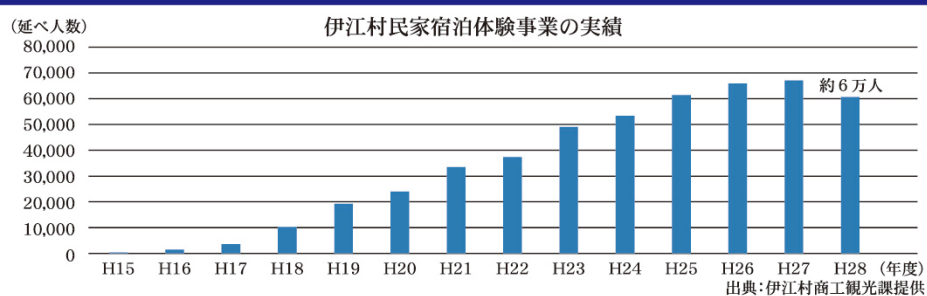
離島や北部地域は、人口減少や高齢化に悩んでいるところが多いんだ。離島などは我が国の国土保全の観点からも重要な地域なんだよ。

豊かな自然や文化を活かした都市との交流などによる地域活性化を応援しているよ。

カヌーに乗ったことあるよ。



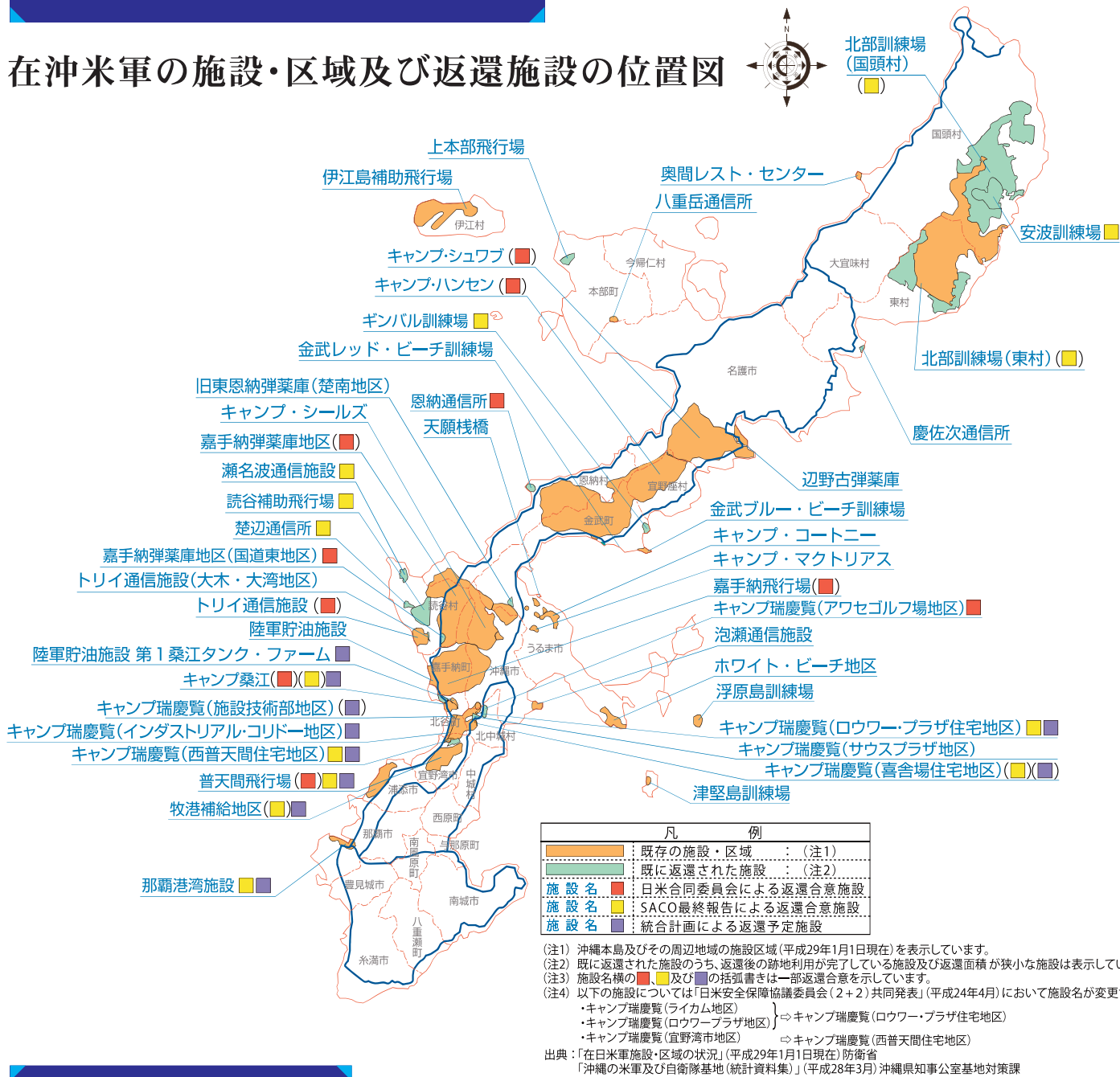
離島に遊びに行きたいわ。





# 基地返還・縮小

在沖米軍の施設・区域及び返還施設の位置図



「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」による嘉手納飛行場以南の駐留軍用地の返還は、今の沖縄振興計画が終了した後に本格化するんだ。これからの沖縄にとって跡地利用は今から取り組む必要がある大きな課題なんだ。



基地の跡地をどう使うか、なんかいろいろアイデアが湧いてきて楽しくなっちゃうなあ。



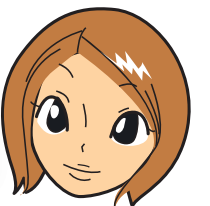
## 終わりに

昭和47年の沖縄の復帰の時から続いてきた特別な措置による沖縄振興は、今の沖縄振興計画が終了する平成33年度には、50年になるよね。



そうだね。これまでみてきた沖縄振興の取組や県民の方々の努力があいまって、この間、社会資本整備における本土との格差はほとんどなくなりつつあるよね。でも、全国の所得と沖縄の県民所得との差はまだ大きくて、産業の振興などのほか、それらを支える人材の育成が大きな課題と考えられているんだ。また、離島や北部など地域ごとの振興にも目を向けなければいけない。これから本格化してくる基地の跡地利用は今後の大きな課題だけど、大きな可能性でもあるんだよ。

50年かぁ。ずいぶん長い間、取り組んでいるんだね。沖縄振興のおかげで、私たちの暮らしも便利になったし、豊かになってきたということだね。



なるほど。

沖縄振興も、世の中の変化に応じて内容が変化してきたよ。何より大事なことは、沖縄振興は沖縄県民の方々の課題であり、みんながその実績、現状、そして課題を知り、自ら考える必要があるよね。変革期にある日本と世界の中で沖縄をどうするのか、今後の在り方について、県民及び国民の皆様みんなで、自らの問題として考えて欲しいな。

よく分かりました。僕も友達、先生、家族と一緒に考えてみることにする。

